

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	旧マルヤマ商店事務所	にほんはきものはくぶつかん こーひーはうす(きゅうまるやま しょうてんじむしょ)	1棟	福山市松永町	平8.12.20	木造2階建、疑似石造、寄棟棟瓦葺。	建築面積90m ²	この建物は、マルヤマ商店の本店として建築されたもので、大正11年(1922)に竣工した事務所建築である。設計が長谷川建築事務所、施工が横山吉吉と伝えられている。装飾のあるパラヘッド、頭部に飾りがある一・二階を通じた柱型・玄関ポーチ等に本格的な洋風の意匠が見られる。大正期に地域の技術者によつて建てられた本格的洋風建築の好例である。		関連施設:松永はきもの資料館 (084-934-6644)
国	登録有形文化財(建造物)	阿多田島灯台資料館 (旧安芸白石挂燈立標施設)吏員退息所	あたたじまとうだいしりょうかん (きゅうあきらいしけいとうりつ びょうしせつ)りいんたいそくしょ	1棟	大竹市阿多田島田ノ浦	平8.12.20	煉瓦造、平屋建、洋瓦葺、寄棟造、明治36年(1903)建設	建築面積91m ²	煉瓦造で外壁にモルタルを塗った航路標識施設の附属屋で、アーチ形の入口や窓の錠戸等に洋風の意匠を取り入れている。わが国の近代の海上交通の発展に貢献した阿多田島の役割を理解する上で欠くことのできない施設である。		
国	登録有形文化財(建造物)	阿多田島灯台資料館 (旧安芸白石挂燈立標施設)物置	あたたじまとうだいしりょうかん (きゅうあきらいしけいとうりつ びょうしせつ)ものおき	1棟	大竹市阿多田島田ノ浦	平8.12.20	煉瓦造、平屋建、洋瓦葺、寄棟造、明治36年(1903)建設	建築面積42m ²	煉瓦造で外壁にモルタルを塗った航路標識施設の附属屋で、物置や浴室として使用された。隣接する旧吏員退息所とともにわが国の近代の海上交通の発展に貢献した阿多田島の役割を理解する上で欠くことのできない施設である。		
国	登録有形文化財(建造物)	阿多田島灯台資料館 (旧安芸白石挂燈立標施設)油庫	あたたじまとうだいしりょうかん (きゅうあきらいしけいとうりつ びょうしせつ)ゆこ	1棟	大竹市阿多田島田ノ浦	平8.12.20	煉瓦造、平屋建、洋瓦葺、寄棟造、明治36年(1903)建設	建築面積12m ²	洋風の意匠をもつ煉瓦造の倉庫で、燈火用の油庫として使用された。島では数少ない煉瓦を外観に現した建物であり、わが国の航路標識施設の整備が大きく進展した時代に建設された煉瓦造の附属施設の様子を知ることができる好例である。		
国	登録有形文化財(建造物)	巣島神社宝物館	いくくしまじんじゃほうもつかん	1棟	廿日市市宮島町	平8.12.20	鉄筋コンクリート造、平屋建、入母屋造、妻入り、銅板葺、昭和9年(1934)建設	建築面積570m ²	鉄筋コンクリート造で大江新太郎の設計で清水組の施工と伝えられる。近代的な平面を持ちながら伝統的な木造建築の形態や意匠を持った建物を近代的な材料で造っている点に特徴がある。当時の大江新太郎の作風をよく示した建物のひとつである。		関連施設:巣島神社宝物館 (0829-44-2020)
国	登録有形文化財(建造物)	県立入船山記念館休憩所 (旧東郷家住宅離れ)	くれしいりふねやまきねんかん きゅうけいしょ(きゅうとうごうけ じゅうたはなれ)	1棟	県市幸町	平9.5.7	木造、平屋建、棟瓦葺、明治初期の建築	建築面積37m ²	元は県市宮原通りの正円寺前にあった邸宅の離れており、一時期東郷平八郎が居を定めていた。その後移築され、民家として使用されたが、昭和55年(1980)に市に寄附され、現在地に移築された。8畳と6畳の二間に廊下が付構成で、海草ゆかりの施設として広く知られている。		関連施設:県立入船山記念館 (0823-21-1037)
国	登録有形文化財(建造物)	三次市歴史民俗資料館(旧三次銀行)	みよししれきしみんぞくじょう かん(きゅうみよしきんこう)	1棟	三次市三次町	平9.5.7	鉄筋コンクリート造、2階建、陸屋根、昭和2年(1927)建築	建築面積190m ²	当初銀行の社屋として建てられ、現在は三次市歴史民俗資料館として利用されている。入口正面のカウント奥に窓口事務室が広がり、二階部分をバルコニーの付いた吹き抜けとしている。簡素ではあるが柱頭飾りなどのアクセントのある外観で親しまれている。		
国	登録有形文化財(建造物)	福山市福寿会館	ふくやましふくじゅかいん	1棟	福山市丸之内一丁目	平9.7.15	木造2階建、瓦葺、昭和10年(1935)～昭和12年(1937)頃建設	建築面積138m ²	昭和10～12年(1935～1937)頃、個人の別荘として建てられた木造、二階建ての洋館である。屋根を急勾配と外壁をモルタル塗りした、立ちの高い外観に、昭和初期の洋風の住宅建築の特徴がよく現れている。庭に面した側の妻にある中央部の浮き彫り装飾や窓上部のアーチ形装飾は美しい。		
国	登録有形文化財(建造物)	吉原家住宅表長屋門	よしはらけいじゅうたくおもてなが やもん	1棟	尾道市向島町	平9.7.15	木造平屋建、瓦葺、明治18年(1885)建設	建築面積114m ²	広大な屢数構えを持つ農家の長屋門形式の表門である。明治時代の建築であるが、文政8年(1825)の家相図により、その時にあった門の規模・形式を継承したものと推定される。向島では類例が少ない長大な規模を持つ表門で、普請関係の記録も残る。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	いろは丸展示館	いろはまるてんじかん	1棟	福山市額町柄	平9.9.3	木造2階建、木瓦葺、江戸時代末期の建物	建築面積211m ²	文化元年(1804~1817)建築の土蔵である。柄の船着場の正面に妻を見せて建つ2階建ての土蔵である。妻の中央と面脇をなまこ壁とし、腰に下見板を張り、窓の上に小庇を付ける等、正面の意匠はよく整っている。港に面したひときわ目立つ土蔵で、往時繁栄した柄の様子を知ることができる建物である。 現在では、幕末に紀州帆船と衝突、沈没した「いろは丸」に係る展示館として使用されており、2階部分には柄本龍馬宿泊の家の免見された隠れ部屋が再現されている。		
国	登録有形文化財(建造物)	時報塔	じほうとう	1基	東広島市志和町志和堀字二ノ平	平9.9.3	鉄筋コンクリート造、大正11年(1922)建設		高さ7.8mの塔状の鐘楼で、上部にアメリカ製の鐘が懸けられている。大正11年(1922)、旧志和堀村在郷軍人会が定期的奉行を目的に建設した。上部を木造とする他のコンクリート造で、壁面に凹凸をつけ石造風につる。鐘の上部にはサイレンが取り付け(昭和17年(1942)頃の改修)。現在でも時を告げる塔として機能し、広く親しまれている。		
国	登録有形文化財(建造物)	観瀬閣	かんらんかく	1棟	呉市下蒲刈町三之瀬字北町	平9.11.5	木造2階建、瓦葺、昭和10年(1935)建設	建築面積289m ²	満州土木建築業協会理事長を勤めた柳谷仙次郎が建てた別荘である。木造2階建で、外壁をタイル張りとする。下蒲刈島の海岸に沿った立地と中国の磯造建築の意匠を取り入れた特異な外観に特徴があり、内部の建具や欄間に用いられた技能の水準も高い。		
国	登録有形文化財(建造物)	松籜亭	しょうらいてい	1棟	呉市下蒲刈町下島字池之浦	平9.11.5	木造平屋建、瓦葺、昭和11年(1936)建設	建築面積81m ²	満鉄に開港する東亜会社の社長が大阪の景勝地枚方の山沿いに建設した「万里莊」(昭和9年(1934)竣工)の隣接座敷として建てた。閑西を中心には多くの敷容建築を手がけた平田雅哉の初期の作品で、窓のナガリ仕上げの庇縁や吟味された材料を用いた三重台目の茶席を見るのもがある。平成4年(1992)に現在地に移築された。		
国	登録有形文化財(建造物)	田中写真館	たなかしゃしんかん	1棟	三次市吉舎町吉舎	平9.12.12	木造地上3階地下1階建、昭和3年(1928)建設	建築面積98m ²	木造モルタル三階建の写真館である。むくり屋根を柱頭飾付きの円柱で受ける玄関部、ベティメント(妻・破風)に設けたカイゼル罫を型取ったユニークな2連の窓などを用いた特異な造形となる。設計施工は地元の木造吉舎川惣一であったことが採用からうかがえる。竣工時から話題となり、今も広く親しまれている建物である。		
国	登録有形文化財(建造物)	南山資料館		1棟	三原市幸崎町能地	平10.4.21	木造2階建、瓦葺、昭和初期建設	建築面積85m ²	木造二階建の診療所建築である。一階が診療施設、二階は接客空間とされていた。現在では一階部分を掘土出身の金工作家清水南山の資料館となっている。上部にアーチ窓を設ける正面中央の玄関が意匠上のアクセントで、洋風の建物として親しまれている。		
国	登録有形文化財(建造物)	広島大学附属中・高等学校講堂(旧制広島高等学校講堂)	ひろしまだいがくふぞくちゅう・こうとうがこうこうどう(きゅうせい) ひろしまこうとうがこうこうどう	1棟	広島市南区翠一丁目	平10.9.2	鉄筋コンクリート造2階建、昭和2年(1927)建設	建築面積507m ²	旧制広島高等学校的講堂として昭和2年(1927)に建築された。鉄筋コンクリート造り平家建てで、一部に2階階数席が設けられ、正面に面番が付く。外壁は石造層に土上げ、1・2階通しの柱型付きとし軒先に装飾タイルを貼る。全体として株式建築を簡素にまとめた意匠構成となるが、仕事は丁寧で技術的に見るべき点が多い。 旧制広島高等学校は大正12年(1923)設置、専門的な高等普通教育が行われたが、昭和24年(1949)新制広島大学に統合された。		
国	登録有形文化財(建造物)	三永の石門	みながのせきもん	1基	東広島市西条町上三永字上弘	平10.9.2	石造アーチ橋、明治15年(1882)頃建設		旧国道2号線の開削工事に伴い分断される既設の農業用水路を確保するため、架けられた石造アーチ型の水路兼歩道橋で、明治15年(1882)頃竣工したと伝えられる。切石で組み上げたアーチ部の周囲を薄い板石で包み独特の工法である。昭和53年(1978)に近隣に移築保存された。		
国	登録有形文化財(建造物)	呉市水道局宮原浄水場低区配水池	くれししいどうきょみやはらじょうすいじょういくはいすい	1基	呉市青山町	平10.10.9	煉瓦造、明治23年(1890)建設		呉港を一望に見渡せる休山西麓の高台に国立呉病院(旧海軍病院)があり、その背後の丘に当時の県守府建築委員会が建設した宮原浄水場(標高約52m)がある。県守府の軍用用水道は、横浜、函館に続きわが国で3番目につく水道施設で、宮原浄水場はその一つとして作られた。配水池の容量は、8,000立方メートルで、煉瓦造の上屋を設ける。簡素ながらわが国初期の水道施設の様子を知る上で貴重な存在である。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	呉市水道局平原净水場低区配水池	くれしそいどうさくひらばらじょうすいじょういくはいすいちら	1機	呉市平原町	平10.10.9	煉瓦造、大正6年(1917)建設		平原净水場は、呉市の中心市街を展望できる坂ヶ峰の南麓、平原町の高台(標高86m)にある。市民用水道施設としてつくられた净水場で、配水池は地下式で場内南側に位置する。煉瓦及びコンクリート造、道路を中心に2つの池を配置した形式になる。南北にある煙突状の煉瓦造換気塔の意匠は独特である。		
国	登録有形文化財(建造物)	呉市水道局二河水源地取入口	くれしそいどうきょくにこうすいげんちとりいべぐち	1基	呉市莊山田村宇東二河平	平10.10.9	石造、明治22年(1889)建設		二河水源地は、呉の名勝二河峠にあり付近一帯は戦後に二河健公園となっている。呉鎮守府の軍用水道施設の一つである。宮原净水場に導水するために二河峠にある水源池につくられた石造の坑門で、上部に呉鎮守府水道と刻まれた標石を置く。アーチ形の開口部両脇に柱型を現した丁寧なつくりで、わが国初期の水道施設の一つとして貴重である。		
国	登録有形文化財(建造物)	呉市水道局三永水源地堰堤	くれしそいどうきょくみながすいげんちえんてい	1基	東広島市西条町下三永	平11.7.8	コンクリート造堰堤、昭和18年(1943)建設		三永水源地は、東広島市西条町南東部の下三永地区にあり、黒瀬川の支流・下三永川に築造された貯水池である。急増する水需要を賄うため、西条町の三永川に建設された重力式コンクリート造の水道用ダムである。堤長145m、堤高14mと巨大で、主堤部中央は緩やかに曲線を描く。貯水量は264万トンで、貯水池周辺は公園化した名所として知られる。		
国	登録有形文化財(建造物)	白滝山荘(旧フーナム住宅)	しらたきさんそう(きゅうふあーなむじゅうたく)	1棟	尾道市因島重井町伊浜	平11.10.14	木造一部鉄筋コンクリート造3階建、瓦葺、昭和6年(1931)頃建設	建築面積105m ²	白滝山荘は、因島市の北側にある雲山白滝山(標高226.9m、市指定史跡・名勝)の登山口に位置するアメリカ人宣教師の居宅で、斜面に建ち、1階は鉄筋コンクリート造、2-3階を木造とする。急傾斜斜面にドーマー窓を付けたハーフティンバー・スタイルの洋館で、ウォータービル建築事務所の作風の一端をよく表している。		
国	登録有形文化財(建造物)	幾野家住宅主屋	いくのけじゅうたくしおく	1棟	三原市久井町和草	平11.10.14	木造平屋建、鉄板葺、明治16年(1883)建設	建築面積151m ²	もと茅葺の農家建築であるが、施主が和菴村の戸長を務めていた関係で、正面に式台玄関と、その左手に半間幅の流れ縁をもつなど戸長役場としての性格を合わせ持つ。明治時代前期における地方行政機構の様子を知るうえで貴重な遺構である。		
国	登録有形文化財(建造物)	中の峠隧道	なかのあおいどう	1基	東広島市西条町郷曾字柏原中の峠	平12.5.17	鉄筋コンクリート造アーチ坑口、昭和5年(1930)頃		大正15年(1926)の渓水を契機に、小田山と深道池間に建設された延長約1.5kmの農業用水路の一部である。全長327m。当初建設された径間約0.7mの鉄筋コンクリート造欠円アーチからなる南坑口に、落盤防止のため昭和18年(1943)長さ約3.8mのRC造箱型坑道を延長する。地元の沖田嘉市が設計・施工し、工事の終り頃には多くの村人が協力して完成させた。		
国	登録有形文化財(建造物)	延藤家住宅洋館	のぶとうけじゅうたくようかん	1棟	府中市出口町	平12.10.18	木造二階建、昭和6年(1931)	建築面積48m ²	和館部の玄関脇に建つ応接用の施設である。1階を擬石造り、2階をハーフティンバーとし、南面にペイクインドウを設け、西面では1階に出入を造りその上を2階バルコニーとする。小規模ながら華やかな外観をもち、内部の階段廻りなどにも清新な意匠が見られる。		
国	登録有形文化財(建造物)	延藤家住宅和館(洞仙荘)	のぶとうけじゅうたくわかん(どうせんそう)	1棟	府中市出口町	平12.10.18	木造二階建、昭和6年(1931)	建築面積360m ²	南面する傾斜地に建てられた別荘施設で、和館部は2階建の主体部と渡り廊下で統繋からなる。玄関奥の二間続きの座敷は数寄屋風の意匠でまとめられ、これに接して四畳半の茶室を備える。複雑にかかる屋根によって、変化に富んだ洒落な外観を造る。		
国	登録有形文化財(建造物)	福山誠之館高等学校記念館	ふくやませいしかんこうとうがっこうきねんかん	1棟	福山市木之庄町六丁目	平13.10.29	木造平屋建 入母屋造 棟瓦葺(さんかわらふき)	建築面積73.4m ²	福山誠之館は安政元年(1854年)に創設された福山藩校である。昭和8年(1933)に当時の学堂の玄関部分と新築の主屋(いわおき)を組み合せ、記念館として開館した。近世の雄大な唐破風玄関(からはふげんかん)と近代の入母屋造(いりもやづくり)の主屋が巧みに融合した構成で、和風の意匠と造形の連続性をよく示している。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	飛弾家住宅主屋	ひだけじゅうたくおもや	1棟	吳市豊町大長	平15.3.18	木造平屋建、瓦葺、江戸後期	建築面積144m ²	飛弾家は、大長(おおちょう)地区に所在するみかん栽培農家である。屋敷地の北側にあり文化9年(1812)没の平三良が建てたと伝える。東西棟の切妻造、平入で、南・北・西の三方に下屋(げや)を廻し、屋根はすべて本瓦葺とする。軒廻りの漆喰塗込や下屋の登り梁風の差掛け梁など、丁寧なつくりである。		
国	登録有形文化財(建造物)	飛弾家住宅離れ	ひだけじゅうたくはなれ	1棟	吳市豊町大長	平15.3.18	木造2階建、瓦葺、大正13年	建築面積148m ²	主屋の西南に東を向いて建つ。1、2階はも周囲を広縁(ひろえん)で取り囲み、それそれに書院付きの床の間をしつらえる。玄関は柱を狛犬風石製礎盤(そばん)で受け、軒に丸垂木を用いるなど、要所に數寄屋風の豪華な意匠が凝らされている。		
国	登録有形文化財(建造物)	飛弾家住宅蔵門	ひだけじゅうたくらもん	1棟	吳市豊町大長	平15.3.18	木造2階建、瓦葺、大正末期	建築面積121m ²	屋敷地東辺を画す長屋門風の建物で、北側は主屋に接する。1階中央部を門口とし、建物内は壁面に13段前後の棚が設けられ、みかんが保存されていた。道筋に面した東面は真壁造だが、1階は腰を彫子下見板張(ささらこしめたいぱり)とするなど、大正期の意匠の意匠の方を示している。		
国	登録有形文化財(建造物)	飛弾家住宅蔵	ひだけじゅうたくら	1棟	吳市豊町大長	平15.3.18	土蔵造平屋建、瓦葺、大正末期	建築面積70m ²	主屋と中庭を挟んだ南側にある。2階建の高さを持つが、内部は床・天井のない倉庫空間としている。みかん保存用の棚があり、現在も同じ方式でみかんが保存されている。当初よりみかんの保存用に建てられたことが知られ、みかん栽培の地域色を示している。		
国	登録有形文化財(建造物)	飛弾家住宅親音堂	ひだけじゅうたくかんのんどう	1棟	吳市豊町大長	平15.3.18	木造平屋建、瓦葺、明治初期／大正末期 移築	建築面積12m ²	蔵門南側に並んで建つ小規模な仏堂である。正面に庇柱を立て、屋根は本瓦葺、宝形造(ほうぎょうづくり)とし、正面に庇を葺き降ろす。もとは別の墓地にあったものを、大正末期に現位置に移設したものである。床下を墓所となるなど、当地域の信仰形態が見える事例である。		
国	登録有形文化財(建造物)	小野公民館 (旧小野尋常小学校校舎)	おのこうみんかん(きゅうおのじんじょうしうがこうこうしゃ)	1棟	神石郡神石高原町小野	平15.7.1	木造平屋建、瓦葺、寄棟造	建築面積761m ²	昭和4年(1929)建築の木造校舎。平屋建で、東西に長い長方形平面を持つ。北側に2.1m幅の廊下を廻し、南側に教室を配する。中央に玄関を開くとともに、西端に児童昇降所を設ける。戦前の木造校舎は県内でも数少なく、昭和時代初期の学校建築の有様を伝える建築である。		
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺山門	こうさんじさんもん	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	鉄造、間口4.5m		耕三寺境内の北端にあって、伽藍中心軸上に位置する。柱4本を立て、中央に両開、両端に片開の扉を吊り、両袖は瓦葺とする。柱、扉ともに鉄製で、白色を基調に随所に丹色を配し、扉にはさまざまな絵柄の装飾を施す。街路に面して境内のランドマークとなる建造物である。		関連施設:耕三寺博物館 (0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺中門	こうさんじちゅうもん	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造、瓦葺、間口3.6m		四間二戸の二重門で、入母屋造、本瓦葺。法隆寺の西院伽藍の中門を原型とするが、梁間は二間とし、各部比例も異なる。組物等の装飾はおむね原型を踏襲しているが、飾金具、彩色などを多用し、壮麗な外観としている。		関連施設:耕三寺博物館 (0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺羅漢堂	こうさんじらかんどう	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19			中門の両側に納く回廊状の建築で、内部に羅漢像を安置する。左右とも桁行17間、梁間1間の規模で、本瓦葺、切妻造とする。外壁面を連子窓、内側を枝唐。小屋は虹梁、挾首組に化粧屋根裏とする。中心伽藍のなかでは最も初期の建築である。		関連施設:耕三寺博物館 (0845-27-0800)

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺鐘楼	こうさんじょうろう	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19			羅漢堂東側背面に建ち、鐘楼と同じ規模形式を持つ。桁行3間、梁間2間、入母屋造、本瓦葺で、白漆喰の特徴を備える。新薬師寺鐘楼を模したもので、上部に高欄を持たない縁を張り出す。上層内部は中央部を吹き抜けとし、両側に床を張る。		関連施設:耕三寺博物館(0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺鼓楼	こうさんじこうろう	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造平屋建、瓦葺	建築面積32m ²	羅漢堂西側背面に建ち、鐘楼と対をなす。鐘楼と同規模同形式で、細部装飾に至るまでほぼ完全に同一である。1階は4半敷の土間とし、上層に高欄を設けない縁を出し、二手先の組物に二軒緊垂木、入母屋造、本瓦葺とする。		関連施設:耕三寺博物館(0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺仏宝蔵	こうさんじぶっぽうぞう	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造平屋建、瓦葺	建築面積83m ²	一連の伽藍からはやや東寄りに建つ。桁行5間、梁間2間、平入、入母屋造、本瓦葺の宝蔵。内部は板敷きで一室とする。耕三寺の建築の中では比較的簡素で、新薬師寺本堂を模したとされるが、規模、各柱間に長押、連子窓を設ける外観など大きく異なる点が多い。		関連施設:耕三寺博物館(0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺法宝蔵	こうさんじほうぞう	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造平屋建、瓦葺	建築面積180m ²	伽藍中央に建つ宝物館で、宝蔵と対をなす。桁行4間、梁間3間の身合四周に表階を廻らす。屋根は入母屋造、本瓦の銘板とする。四天王寺金堂を模したといわれるが、法宝蔵は妻入り、屋根勾配、各部比例なども大きく異なる。		関連施設:耕三寺博物館(0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺僧宝蔵	こうさんじそうぼうぞう	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造平屋建、瓦葺	建築面積180m ²	伽藍中段東側に建ち、同型同規模の法宝蔵と五重塔をはさんで対をなす。四天王寺金堂を参考しつつ大きく表裏を変え、身合は円柱に二手先、表階は角柱に平三斗とし、内部は折上格天井の大空間とする。昭和初期における大規模木造寺院建築の好例である。		関連施設:耕三寺博物館(0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺至心殿	こうさんじしんでん	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造平屋建、銅板葺	建築面積114m ²	伽藍最上段西側に建ち、信楽殿と対をなす。法界寺阿弥陀堂を模したと伝えられ、5間四方の身合に吹き放しの表階を設け、屋根は宝形造、銅板葺。組物は平三斗で、表階の正面中央部のみ一段高く屋根を設ける。内部は一室とし、各種用途に活用されている。		関連施設:耕三寺博物館(0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺信楽殿	こうさんじしんぎょうでん	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造平屋建、銅板葺	建築面積104m ²	伽藍最上段の東側に建つ、至心殿とは対をなし、同規模同形式とするが、平面などに若干の違いがある。身合柱は円柱、表階柱は角柱で、講堂として用いられる身合内部は一室とし、天井は折上小格天井。四周外壁は蔀戸を見せるが、内部には壁が設けられている。		関連施設:耕三寺博物館(0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺本堂	こうさんじほんどう	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造平屋建、瓦葺	建築面積271m ²	中堂、左右翼廊、尾廊からなる堂宇。いずれも本瓦葺とし、軸部、壁面、建具に至るまで極彩色を施し、飾金具を用いる。平等院鳳凰堂を模しているが、細部においては異なる点も多く、内部外部とも壯麗さを増しており、耕三寺の中核建築として知られている。		関連施設:耕三寺博物館(0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺多宝塔	こうさんじたほうとう	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造多宝塔、銅板葺	建築面積25m ²	本堂西方に建つ、石山寺多宝塔を模しており、下層は方3間の周囲に縁を廻らし、上層は円形平面で四手先組物にて軒緊垂木の軒を支え、屋根は上層下層とも銅板葺とする。比較的原作に忠実であり、組物等に彩色を施した外観は壯麗である。		関連施設:耕三寺博物館(0845-27-0800)

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺八角円堂	こうさんじはっかくえんどう	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造平屋建、瓦葺	建築面積71m ²	本堂を挟んで多宝塔と対置される。正八角形平面を持ち、屋根は宝形造、本瓦葺。法隆寺夢殿を模しているが、規模を縮小している。柱は八角柱で、組物は隅部出三斗、中備は平三斗。内部は板敷で、中央は鏡天井、周囲を格天井とする。		関連施設:耕三寺博物館(0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺銀龍閣	こうさんじぎんりゅうかく	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造平屋建、銅板葺	建築面積40m ²	境内南東方の庭園池泉に張り出して建つ。八畳大的板間の三方に縁を廻らし、東側に床と小室を設ける。屋根は宝形造の銅板葺。板間は鏡天井として龍の絵を描き、軸部はすべて銀色とする。板間の障子に花頭窓を設ける点も特徴的で、特異な意匠の建築である。		関連施設:耕三寺博物館(0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	耕三寺潮聲閣	こうさんじちょうせいかく	1棟	尾道市瀬戸田町瀬戸田	平15.9.19	木造及び鉄筋コンクリート造平屋一部2階建、瓦葺、単寄付	建築面積389m ²	境内東北隅に建つ住家建築。ポーチを持つRC2階建の洋館と、唐破風の玄関を持つ木造平屋建の和館からなり、洋館、和館玄関、老人室など各所に意匠を凝らす。洋館と和館を並立させる昭和初期の大規模住家建築の特徴をよく伝える。		関連施設:耕三寺博物館(0845-27-0800)
国	登録有形文化財(建造物)	久山田貯水池堰堤	ひさやまだちょすいちえんてい	1基	尾道市久山田町	平16.11.29	粗石モルタル積表面張石造 堤長75.0m 堤高22m 有効貯水量754,000t		大正14年尾道市水道開設に伴い建造。市南西部を流れる門田川に建設された。中央に越流部を設けた堤長75m、堤高22mの石積コンクリート造堰堤で、堤体右岸寄りに半円状の取水塔を張り出す。平面形状は副堰堤との同心の円弧とし、重力式とアーチ式を複合した構造形式が特徴。		
国	登録有形文化財(建造物)	長江浄水場着水井	ながえじょうすいじょうちやくすいせい	1井	尾道市長江	平16.11.29	鉄筋コンクリート造 長方形 面積5.0m ² 内法長24.2m 幅1.2m 深さ2.4m		大正14年尾道市水道開設に伴い建造。樋ヶ峰の頂を約12m掘り下げて築かれた尾道市創設水道の浄水池施設の一つ。水源地より自然流下により導水された原水を受ける施設で、鉄筋コンクリート造隔壁で内部を区切り、天端には花崗岩を配す。		
国	登録有形文化財(建造物)	長江浄水場緩速ろ過池	ながえじょうすいじょうかんそくろかち	4池	尾道市長江	平16.11.29	鉄筋コンクリート造 扇形454m ² 深さ2.4m		大正14年尾道市水道開設に伴い建造。着水井から導かれた水をろ過処理するための施設。外半径4.8m、内半径2.4m、中心角120°で、内部を隔壁により4等分した扇形平面の鉄筋コンクリート構造物で天端には花崗岩を配す。狭小地を巧みに利用した類例の少ない平面形状が特徴。		
国	登録有形文化財(建造物)	長江浄水場配水池	ながえじょうすいじょうはいすいち	1池	尾道市長江	平16.11.29	鉄筋コンクリート造 鉄筋コンクリート造り上屋計量室 内径27.0m 深さ3.0m		大正14年尾道市水道開設に伴い建造。ろ過池と同心の半径14mの円形鉄筋コンクリート構造物で内部は中央隔壁で2分される。池中心部の円井で滅菌水が注入されたろ過水を、円形2条の渠流壁に沿って蛇行させることで搅拌作用を高める。円井上方にはアールデコ風の平面12角形の上屋を設ける。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧福井家住宅主屋	きゅうふくいけじゅうたく(おのみちしふんがくきねんしつ)しゅおく	1棟	尾道市東土堂町	平16.11.29	木造平屋建、瓦葺	建築面積210m ²	尾道水道に臨む斜面に南面して建ち、寄棟造の東棟が大正元年、入母屋造の西棟が昭和2年築で、ほぼ中央の玄関を挟んで巧みに連続する。木造平屋建、桟瓦葺で、檜に楓や鉄刀木(たがやさん)などの銘木を多用した上質な造りになり、瀟洒な数奇屋風の意匠でまとめている。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧福井家住宅茶室	きゅうふくいけじゅうたく(おのみちしふんがくきねんしつ)ちやしづつ	1棟	尾道市東土堂町	平16.11.29	木造平屋建、瓦葺	建築面積28m ²	昭和3年築。主屋西棟の北西部に接続しており、尾道の近代における茶室趣味の有様の一端を物語っている。規模は小さいが、木造平屋建、桟瓦葺で、4畳半茶室に廊下を挟んで控えの間が付属した形式になっている。主屋と同じ良材を持ち、洗練された丁寧な造りである。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	旧福井家住宅蔵	きゅうふくいけじゅうたく(おのみちしふんがくきねんしつ)くら	1棟	尾道市東土堂町	平16.11.29	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積25m ²	主蔵造2階建、南北棟の切妻造、妻入で、蔵前が主屋西棟の北側に連続している。規模は桁行6m、梁間4m、屋根は桜瓦葺、外壁は漆喰塗り、1・2階境に蛇腹風の段をつけて水切り瓦を廻す。2階妻面には小庇付の窓を設ける。主屋と一連の丁寧な造りになる。建築時期は主屋東棟とほぼ同時期の大正元年ごろと考えられる。		
国	登録有形文化財(建造物)	竹村家主屋	たけむらやしゅおく	1棟	尾道市久保	平16.11.29	木造2階建、瓦葺	建築面積481m ²	大正9年築。木造2階建、桜瓦葺で、北が道路、南が海に面している。全体は南北棟の北側と東西棟の南側が直交したT字型の形態で、竹村の細工や造作を多用した繊細な書院造である。北正面は棟違いの八棟造風に扱うなど、外観は重厚かつ豪放で、地域景観の核になっている。		
国	登録有形文化財(建造物)	竹村家門及び塀	たけむらやもんおよびへい	1棟	尾道市久保	平16.11.29	木造、瓦葺、間口2.4m、塀延長20.0m		大正9年築。門は北邊西寄りに設けられた切妻造、銅板葺の棟門で、簡素な袖塀がつく。これに続く塀は、真壁造、桜瓦葺で、腰から上を黒漆喰塗とし、簾を入れた横長の小窓を開け、重厚さと繊細さを併せ持つ。敷地の北辺と西辺を区画つつ、街路景観を整えている。		
国	登録有形文化財(建造物)	恋しき主屋	こいしきしゅおく	1棟	府中市府中町字横町	平16.11.29	木造平屋一部3階建、瓦葺	建築面積347m ²	通り沿いの2階建、切妻造、平入の建物が明治初期、背面に延びる3階建の客室が明治38年、大正元年の増築になる。正面中央の望楼風3階も増築。格子や手摺などの細部には伝統的な意匠を残すが、変化に富んだ外観を構成し、街路景観上際立った存在になっている。		
国	登録有形文化財(建造物)	恋しき離れ(桔梗の間)	こいしきはなれ(ききょうのま)	1棟	府中市府中町字永井	平16.11.29	木造平屋建、瓦葺	建築面積26m ²	敷地奥の中庭に北面して建つ。木造平屋建、東西棟の寄棟造、桜瓦葺で、銅板葺の庇を廻す。6畳の座敷と3畳の控室からなる。真壁造で、壁は黒漆喰仕上、丸窓三日月窓など多様な開口部を配し、格子を交え付されているなど、野趣にも富んだ洒落な数奇屋風の建物。建築時期は大正初期と考えられる。		
国	登録有形文化財(建造物)	恋しき離れ(菊の間)	こいしきはなれ(きくのま)	1棟	府中市府中町字永井	平16.11.29	木造平屋建、瓦葺	建築面積62m ²	敷地奥の中庭に北面して建つ。木造平屋建、真壁造、東西棟の寄棟造。桜瓦葺で、6畳の座敷と3畳の控室からなり、廊下を廻して手洗所を付属する。格子を用いた床の間、木舞打の軒、梯形風とした小窓の下地窓など、洗練された数奇屋風の建物。建築時期は大正初期と考えられる。		
国	登録有形文化財(建造物)	恋しき離れ(桐・さつきの間)	こいしきはなれ(きり・さつきのま)	1棟	府中市府中町字永井	平16.11.29	木造平屋建、瓦葺	建築面積107m ²	主屋後方、中庭に面して建つ。真壁造、平屋建で、L字型棟とした入母屋造、桜瓦葺である。桐の間は6畳と8畳の2室構成、さつきの間は6畳1室で、奥にある内玄関と廊下で連結する。書院造で外壁黒漆喰塗で下屋庇を廻すなど、堂々とした外観構成をもつ。建築時期は大正後期と考えられる。		
国	登録有形文化財(建造物)	恋しき(竹・萩の間)	こいしきはなれ(たけ・はぎのま)	1棟	府中市府中町字永井	平16.11.29	木造平屋建、瓦葺	建築面積62m ²	敷地奥の中庭に西面して建つ。木造平屋建、真壁造、L字型棟とした切妻造。桜瓦葺で、4畳半茶室、8畳座敷、3畳控室などを巧みな平面構成で処理している。華奢な丸太柱、綾勾配の屋根や庇、竹や桐代の造作、繊細な意匠など、数奇屋風の軽快で風雅な造りになる。建築時期は昭和23年頃と考えられる。		
国	登録有形文化財(建造物)	宮島町立宮島歴史民俗資料館(旧江上家住宅)主屋	はつかいちしみやじまれきしみんぞくじりょうかん(きゅううえがみけじゅうたく)しゅおく	1棟	廿日市市宮島町	平16.11.29	木造2階建、瓦葺	建築面積201.27m ²	厳島神社西福地の西方にあり、通りに南面して建つ。桁行13.5mの木造2階建、切妻造、桜瓦葺、平入で、平面は通り土間式、西面に平屋建の茶室部を付属する。深い軒や庇を支持する持送り板、いわゆる千本格子の建具など、宮島における商家建築の好事例。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	宮島町立宮島歴史民俗資料館 (旧江上家住宅)蔵	はつかいちしみやじまれきしみんぞくしょうかん(きゅうえがみけじゅうたく)くら	1棟	廿日市市宮島町	平16.11.29	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積13.65m ²	主屋東表面に建つ。土蔵造2階建。桁行梁間とも2間半の方形で、1・2階とも主屋と続き、棟を主屋と同じ東西棟の切妻造、棟瓦葺とする。外壁は漆喰塗、1階腰を縦板で覆い、1・2階境に水切瓦を廻す。主屋との連続性を重視し、商家の表えを構成している。		
国	登録有形文化財(建造物)	堂々川一番砂留	どうどうがわいしばんなどめ	1基	福山市神辺町湯野字トウトウ谷	平18.8.24	重力式石造堰堤、江戸時代後期築造・明治時代増築		芦田川水系堂々川に江戸時代に建設された砂留の中で、最下流に位置する。当初築かれた堰堤の東袖部に当たる。大型の花崗岩を用いて空石積(からいしづみ)、布積(ぬのづみ)で築いた石積壁体の上部に、割石を段状に積み上げる。近世に遡る石積堰堤の遺構として貴重。		
国	登録有形文化財(建造物)	堂々川二番砂留	どうどうがわいばんなどめ	1基	福山市神辺町湯野字追山	平18.8.24	重力式石造堰堤、江戸時代後期築造・大正時代前期改築		一番砂留の約180m上流に位置する。西袖部は、壁体を乱積(らんづみ)、隅部を算木積(さんぎづみ)とし、その東側は谷積(たにづみ)壁体で水叩(みずたたき)の機能を持つむりつきの石積壁体を腰附けしている。異なる石積構法に、石積技術の時代的特色を示す。		
国	登録有形文化財(建造物)	堂々川三番砂留	どうどうがわいさんばんなどめ	1基	福山市神辺町湯野字追山	平18.8.24	重力式石造堰堤、天保3年(1832)頃築造・明治時代増築		二番砂留の約60m上流に位置する。大型の花崗岩をほぼ6分の勾配で階段状に積み、その上部を布積(ぬのづみ)の石垣で嵩上げする。緩やかなアーチ平面で地山に取り付き、外力の一部を端部まで伝える構造とする。		
国	登録有形文化財(建造物)	堂々川四番砂留	どうどうがわよんばんなどめ	1基	福山市神辺町湯野字追山	平18.8.24	重力式石造堰堤、江戸時代後期築造・大正時代前期改築		三番砂留の約130m上流に位置する。西袖部下部の乱積(らんづみ)部分を除き、大正時代以降に築かれる。間知石(けんちいし)谷積(たにづみ)の水通しの前面にむりつきの石積壁体を付け、左右の袖部を前方に張り出すなど、強面なつくりとする。		
国	登録有形文化財(建造物)	堂々川五番砂留	どうどうがわごばんなどめ	1基	福山市神辺町西中条字トウトウ谷	平18.8.24	重力式石造堰堤、天保6年(1835)頃築造・明治時代増築		四番砂留の約180m上流に位置する。大型の花崗岩をほぼ6分の勾配で階段状に積み、その上部を布積(ぬのづみ)と谷積(たにづみ)の石垣で嵩上げする。三番砂留と同様に緩やかなアーチ平面を描き、緩いねわだるみをついた石積形式とする。堰堤の遺構として貴重。		
国	登録有形文化財(建造物)	堂々川六番砂留	どうどうがわろくばんなどめ	1基	福山市神辺町西中条字トウトウ谷	平18.8.24	重力式石造堰堤、江戸時代後期築造・明治時代増築		芦田川水系堂々川に建設された江戸時代の砂留の中で最大のものである。五番砂留の約60m上流に位置する。ほぼ1割の勾配で大型の石を腰附けして積み、その上部を等に張り出す。藩政時代に築かれた堂々川筋の砂留の内最大規模で、地域のランドマークとして親しまれている。		
国	登録有形文化財(建造物)	嵩ヶ迫砂留	とびがさこなどめ	1基	福山市神辺町西中条字トウトウ谷	平18.8.24	重力式石造堰堤、江戸時代後期築造・大正時代増築		五番砂留の上流で、堂々川本川に合流する支流に位置する。大型の花崗岩をほぼ7分の勾配で階段状に積み、平面は緩やかなアーチを描く。急勾配の渓流の上流部に築かれた大規模な砂留で、渓岸の安定に寄与する。		
国	登録有形文化財(建造物)	内広砂留	うちひろすなどめ	1基	福山市神辺町西中条字トウトウ谷	平18.8.24	重力式石造堰堤、江戸時代後期築造・明治時代増築		六番砂留の上流で、堂々川本川の支流に位置する。両袖部は壁体を空石積(からいしづみ)、乱積(らんづみ)、隅部を算木積(さんぎづみ)とし、水通しに対して前方に張り出す。上部は、谷積(たにづみ)により段状に積み、近世に遡る石積堰堤として貴重。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	深山変電所本館(旧桃梨川発電所本館)	みやまへんでんしょほんかん (きゅうむくなしがわはつでん しょほんかん)	1棟	東広島市河内町	平19.5.15	石造平屋建、スレート葺	建築面積200m ²	大正7年(1918)に猿川発電所本館として竣工した石造平屋建の建物で、現在は改修されて深山変電所本館となっている。 小屋組はキングルートラスで、壁面を瘤出仕上げの花崗岩ブロックで築き、四周に配した半円アーチ形開口部の間に垂蓋をつける。 山側部の近代化を象徴する重厚なつくりの洋風建築で、広島県における電力業発展の歴史を示している。		
国	登録有形文化財(建造物)	明眼寺本堂	みょうげんじほんどう	1棟	東広島市福富町	平19.12.5	木造平屋建、瓦葺、建築面積299m ²		昭和13年(1938)に建築された木造平屋入母屋造、棟瓦葺の淨土真宗本堂。桁行7間、梁間9間半で、右手奥に8畳2室の座敷を張り出す。正面は吹放しの広縁とし、正・側面には擬宝珠高欄付の切目縁を廻し、1間向拝をつける。外陣内には、梁間4間の長大な虹梁を二支架け渡す雄大な構造を見せており、組物は肘木を斜めに出し、尾垂木を加えるなど、独特の意匠がみられる。 工匠は、吉田町(現在の安芸高田市)の西谷庄一で、昭和7年には宮島大型院観音堂の造営にもあたっている。		
国	登録有形文化財(建造物)	信岡家住宅主屋	のぶおかげじゅうたくおもや	1棟	福山市新市町	平20.4.18	木造平屋建、瓦葺、建築面積346m ²		信岡家住宅の中心的建造物で、屋敷地の北寄りに南北に建つ。段追切妻造、棟瓦葺で、「つし2階」(天井の低い階)を設けている。外壁は漆喰で塗り込み、妻壁には水切瓦をつけて重厚に仕上げている。 桁行は29mに及び、東方を土間、西方を床室とし、さきにその西側に、西本願寺下院の仏壇を納める座敷棟が接続している。 当家の書記録である『提出記録(とりだしきろ)』によれば、文政8年(1825)に茅葺であった旧主屋を火災で失い、その翌年に再建に取りかかったことが知られる。		
国	登録有形文化財(建造物)	信岡家住宅東の蔵	のぶおかげじゅうたくひがしのくら	1棟	福山市新市町	平20.4.18	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積66m ² 、東門付		主屋の南東方に位置し、西向きに建つ。桁行13m、梁間5.1m、切妻造、本瓦葺の2階建土蔵で、もとは米蔵であったと伝えられる。 建物内部は、南北に分割されており、西面に土間を付け、南東端には東門と呼ばれる通用門が接続している。外壁は黒漆喰塗で、腰部や水切りの小庇の上部等に海鼠壁をまわして、重厚な造りとしている。 『提出記録(とりだしきろ)』によれば、文政8年(1825)に東の蔵が焼失し、翌文政9年(1826)に主屋とともに再建したことが知られる。		
国	登録有形文化財(建造物)	信岡家住宅西の蔵	のぶおかげじゅうたくにのくら	1棟	福山市新市町	平20.4.18	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積66m ²		主屋の西方に位置する。桁行(東西)13m、梁間(南北)5.1m、切妻造、本瓦葺の2階建土蔵で、道具蔵として利用されている。内部は東西2室に分割され、東から南面に棟瓦葺の庇をまわし、東面と南面に戸口を設ける。腰部や庇上部等に意匠の異なる海鼠壁を配して変化をもたせている。 『提出記録(とりだしきろ)』には、文化5年(1808)に「西之土蔵」を建て替えたという記事が見え、現存建物の中では最古のものとみられる。		
国	登録有形文化財(建造物)	信岡家住宅炭小屋	のぶおかげじゅうたくすみごや	1棟	福山市新市町	平20.4.18	木造平屋建、瓦葺、建築面積27m ² 、塀付		主屋の東方、東の蔵の北方に、南北に建つ。桁行6.9m、梁間3.9m、切妻造、棟瓦葺の平屋建で、外側の南面に木材を直した木の棚を設ける。なお、南側には棟瓦葺の土蔵が接続している。 『提出記録(とりだしきろ)』によれば、現在の炭小屋の前身建物とみられる「東脇不納屋」が嘉永4年(1851)に焼失したので、すぐ再建したと見える。その後、昭和初期に改修されているが、江戸時代の炭小屋としての形態は引き継がれており、当時の生活の様子をうかがうことができる。		
国	登録有形文化財(建造物)	信岡家住宅茶室及び腰掛	のぶおかげじゅうたくちやしおよびこしかけ	1棟	福山市新市町	平20.4.18	茶室、木造平屋建、茅葺(銅板仮葺)、建築面積18m ² 、腰掛、木造、銅板葺、面積3.5m ²		主屋座敷棟の南側に西向きに建ち、西方に腰掛を配する。入母屋造、茅葺(現状は銅板仮葺)で、6畳大の主室と、背後の4畳大的水屋からなり、南西角には南面して戸口(にじびら)、西面して貰人戸(きにんぐら)を設ける。 昭和初期に連水家元の設計で建てられたもので、近代茶室の好例である。当初は兵庫門の外に位置していたが、昭和30年頃に現在地に移築された。		
国	登録有形文化財(建造物)	信岡家住宅井戸屋形	のぶおかげじゅうたくいどやかた	1棟	福山市新市町	平20.4.18	木造、瓦葺、面積5.6m ²		主屋の東南方に東向きに建ち、南北に塀を延ばす。間口1.5m、切妻造、棟瓦葺の1間腕木門で、前後に控柱を設てる。現在では茶室に入ための中門になっているが、江戸時代には福山藩主を迎える「御成門」であったと伝えられる。妻筋や腰掛間の意匠、扉の金具等「御成門」としての格式を感じさせる。 この建物は、『提出記録(とりだしきろ)』の慶応4年(1868)の項に見える「井戸上屋」に相当するとみられ、同年5月の大雨で破損し、6月に再建されている。当家の近世における生活様態の一端を示しており、建築年代が判明する井戸屋形としても貴重な例である。		
国	登録有形文化財(建造物)	信岡家住宅中門及び塀	のぶおかげじゅうたくなかもんおよひい	1棟	福山市新市町	平20.4.18	門 木造、瓦葺、間口1.5m 塀 木造、瓦葺、延長10m		茶室の東南方に東向きに建ち、南北に塀を延ばす。間口1.5m、切妻造、棟瓦葺の1間腕木門で、前後に控柱を設てる。現在では茶室に入ための中門になっているが、江戸時代には福山藩主を迎える「御成門」であったと伝えられる。妻筋や腰掛間の意匠、扉の金具等「御成門」としての格式を感じさせる。 『提出記録(とりだしきろ)』によれば、文化元年(1804)に福山藩主が信岡家に立ち寄っており、その「御成門」の意匠が現在の茶室の構造にあつた。同記録には、この座敷が天保4年(1833)に建て替えられたことが記述があり、中門もその時に再建されたものとみられる。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	信岡家住宅長屋門	のぶおかげじゅうたくなががもん	1棟	福山市新市町	平20.4.18	木造2階建、瓦葺、建築面積137m ²		主屋の南方、屋敷の正面に建つ。桁行(東西)31m、梁間(南北)40m、入母屋造、本瓦葺の2階建で、西面に門口を開け、北面に土間庇を付ける。東端3間半は大壁造の米蔵で、門口の両脇に使用人の居室を配している。 家伝では明治初期の建築とされるが、形式・構造も時代相応であり、部材経年感も江戸時代後期の主屋と比べて新しく、家伝を裏付けている。旧福山市中街道に南面して建つ長大な連造物で、沿線のランドマークとなっている。		
国	登録有形文化財(建造物)	神龍橋(旧紅葉橋)	しんりゅうはし(きゅうもみじばし)	1基	神石郡神石高原町、庄原市	平21.8.7	鋼製単トラス析橋、横長84m、幅員4.6m、高欄付		帝釈峠のダム湖である神龍湖に架かる。 橋長84m、幅員4.6mの鋼製、下路式(かろしき)の道路橋で建設当時、単純トラスの道路橋として我が国最大の跨間を実現した大型橋梁である。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧筒賀村役場庁舎	きゅうつがそんやくばちょうしゃ	1棟	山県郡安芸太田町中筒賀	平22.4.28	木造2階建、瓦葺、建築面積247m ²		県西部の山間に東面して建つ。 正面16m、奥行15m、宝形造の木造2階建で、正面中央に半円アーチ形開口部を持つ玄関ポーチを付ける。外装モルタル塗仕上げ、腰スカットタイル貼し。補形ペインメントには植物文様をあしらう。 山間村落の近代化を示す。 ベイビートン・西洋建築における切妻屋根の妻側屋根下部と水平材に囲まれた三角形の部分。日本建築の「破風(はふ)」に該当する。		
国	登録有形文化財(建造物)	眼鏡橋	めがねばし	1基	世羅郡世羅町小世良	平22.4.28	石造アーチ橋、横長6.6m、幅員12m、擁壁付		芦田川水系乙川に架かり、尾道と三次を結ぶ旧幹線道路の橋梁。 橋長6.6m、幅12mの花崗岩を用いた半円の石造単アーチ橋で、左右に石造擁壁を附属する。 坑門は石積で精緻に築く。 県内では石積少ない石造アーチ橋の一つで、明治の道路近代化の歴史を物語る。		
国	登録有形文化財(建造物)	村上家住宅主屋	むらかみけじゅうたくおもや	1棟	福山市今津町	平22.9.10	木造2階建、瓦葺、建築面積152m ²		松永津を南方に臨む丘陵地に占める敷地の西寄りに位置する。入母屋造替瓦葺の木造2階建。 北面に深い下屋、東面に入母屋造妻入の玄間を付設。2階は東西に二室並べ、西・南に縁をめぐらし、西室にトコ構えや櫛間を飾る。良材を用い、繊細な意匠になる接客座敷。		
国	登録有形文化財(建造物)	村上家住宅衣裳蔵	むらかみけじゅうたくいしょうくら	1棟	福山市今津町	平22.9.10	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積48m ²		主屋の北に位置する。切石積基礎上に建つ土蔵造2階建で、桁行9.8m梁間4.9m。東西棟の切妻造本瓦葺とする。 高く堅板を張り、軒まわりを漆喰仕上げとする。1階は二室に分け、各室に出口を設け、庇をかける。 内壁も漆喰仕上げるなど丁寧なつくりになる。		
国	登録有形文化財(建造物)	村上家住宅米蔵	むらかみけじゅうたくこめぐら	1棟	福山市今津町	平22.9.10	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積29m ²		衣裳蔵の東方に東西棟で建つ。桁行4.7m梁間4.0mの土蔵造2階建で、南面から東に下屋を設け、南面の一部を室内に取り込み、東は貢物小屋とする。 切妻造本瓦葺、切石積基礎上に建ち、外壁は漆喰仕上げとする。棟瓦葺の下屋が外観に変化を与える。		
国	登録有形文化財(建造物)	村上家住宅納屋	むらかみけじゅうたくなや	1棟	福山市今津町	平22.9.10	木造平屋建、瓦葺、建築面積31m ²		衣裳蔵と米蔵を繋ぐ両下造、桁行5.0m梁間4.9mの木造平屋建。内部にトコや戸棚を残すなど、寺子屋に使用された名残を留める。 敷地内側を柱瓦葺で壁裏とするのに対して、北外側を本瓦葺、大壁造として、米蔵や衣裳蔵と一緒に趣のある屋敷構えをつくる。		
国	登録有形文化財(建造物)	村上家住宅井戸屋形	むらかみけじゅうたくいどやかた	1棟	福山市今津町	平22.9.10	木造、瓦葺、建築面積3.8m ² 、井戸付		米蔵の東に位置する。桁行2.7m梁間1.4mの切妻造柱瓦葺。切石上に方柱を建て、貫で固め、頂部に梁と桁を架す、一軒棟垂木。 中央に井戸を設け、井戸枠は凸状の花崗岩を組み合わせる。石敷の洗い場を周囲に設ける。近世の生活空間の一端を示す。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	村上家住宅長屋門	むらかみけじゅうたくながやもん	1棟	福山市今津町	平22.9.10	木造平屋建、瓦葺、建築面積72m ²		主屋の東南に東西棟で建つ。入母屋造棟瓦葺で、西面から南面に下屋をまわす。桁行16m梁間3.9mの木造平屋建。 東端を物蔵、西半部は居室とし、その間に間口3.7mの門口を開ける。門口は東半を壁とする引込み戸をたてる。風格ある屋敷正面をぐる。		
国	登録有形文化財(建造物)	村上家住宅腕木門	むらかみけじゅうたくうできもん	1棟	福山市今津町	平22.9.10	木造、瓦葺、間口3.4m、塀付		主屋南面の庭を画する門で、左右に瓦垣を付ける。3.5m間隔で本柱をたて、腕木で軒桁を支持。一軒疊垂木。切妻造棟瓦葺。 本柱間及びひさしに回り、上に折れの欄間を飾り、下は面脇を土壁とし、中央に引分け戸をたてる。瀟洒な意匠をもつ、庭園の景観要素となる。		
国	登録有形文化財(建造物)	村上家住宅石垣	むらかみけじゅうたくいしがき	1基	福山市今津町	平22.9.10	石造、延長77m		敷地の南面から西・北面にかけて築かれた石垣で、高さは南西角で4.2m、北西角で2.3mを測り、総延長76mに及ぶ。 打ち込み矧ぎの乱積とし、各角は算木積とする。一部に明治期の火災の痕跡を残す。城郭のような威容を誇る敷地構えをうかがわせる。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧大草尋常高等小学校奉安殿	きゅうおおぐさじんじょうこうとうしょ うがつこうほうあんあん	1棟	三原市大和町大草	平23.1.26	石造平屋建、建築面積2.9m ² 、基壇付		小学校庭隅の石積基壇上に建ち、間口一、七メートル奥行き一、七メートル、石造である。切石布積の軒体前面にたつドリス式風の円柱で庇を受ける。隅反りのある屋根石上に宝珠状の頂石を載せ、四方に切妻の小屋根を置く。独特な形式になる石造奉安殿。		
国	登録有形文化財(建造物)	佛通寺多宝塔	ぶつうじたっぽうとう	1棟	三原市本郷町高山	平23.1.26	木造多宝塔、銅板葺、建築面積18m ²		境内の高台に建ち、間口、奥行とも4.3m、三間多宝塔。銅板葺で、縁高欄をめぐらす。軒部は和様を基調とし、組物は下層出組、上層二脚先手とする。基盤等の細部に流麗な彫刻を施し、軒まわり部材に反りをもたらすなど整った塔姿をもつ近代の多宝塔。 昭和2年建設。		
国	登録有形文化財(建造物)	長江浄水場ベンチヨリ上屋	ながえじょうすいじょうベンチヨリ うわや	1棟	尾道市長江三丁目	平23.1.26	鉄筋コンクリート造平屋建、切妻造、建築面積5.9m ²		尾道市街の丘陵上にある浄水場南端に建つ、桁行2.6m、梁間2.6m、鉄筋コンクリート造、切妻造妻入で、正面出入口に切妻屋根の庇を付ける。軒下や妻面に縦型風の特送りを付けるなど、木造洋風建築を鉄筋コンクリート造で表現した上屋である。 大正14年建設。		
国	登録有形文化財(建造物)	三楽荘本館	さんらくそうほんかん	1棟	庄原市東城町	平23.1.26	木造2階建、瓦葺、建築面積282m ²		角地に東を正面にして建ち、桁行18m、梁間17m、木造二階建。入母屋造棟瓦葺で、両妻に小破風を重ねる複雜な屋根をぐる。一階は正面に出格子をたて、二階は出格子の軒まで黒漆喰で塗り込め、虫籠窓を穿つ。重厚で、風格ある大型町家である。 明治24年建設。		
国	登録有形文化財(建造物)	三楽荘離れ	さんらくそはなれ	1棟	庄原市東城町	平23.1.26	木造2階建、瓦葺、建築面積124m ²		主屋の北側に建ち前後に庭を配する。桁行13m、梁間9.9m、木造二階建。入母屋造棟瓦葺で、一階周囲の屋根を下屋とする。東面は二階に木瓜形の格子窓を穿ち、庭園に面する西面は開放的なつくりとする。内部意匠も優雅な接客施設である。 明治42年建設。		
国	登録有形文化財(建造物)	三楽荘茶屋	さんらくそうちや	1棟	庄原市東城町	平23.1.26	木造平屋建、瓦葺、建築面積10m ²		離れ北西角に廊下を介して建つ。桁行4.1m、梁間2.4m、木造平屋建、西面入母屋造棟瓦葺である。西半を二層茶室として、茶室北面の西側に地袋、東側に棚を備える。東半は前室及び廊下とする。庭園に面する南・西面を大きく開放した近代茶室。 昭和前原建設。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	三楽莊土蔵	さんらくそうどぞう	1棟	庄原市東城町	平23.1.26	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積34m ²		敷地西寄りに建ち、桁行6.9m、梁間4.9m、土蔵造2階建、切妻造棟瓦葺である。内部は一階を土間、二階を居室とする。外部は漆喰塗で腰を堅板張とし、一階上部の水切り瓦と二階向妻の山型の水切り瓦が特徴的で、敷地背面の景観を引き締める。 明治26年建設。		
国	登録有形文化財(建造物)	三楽莊門及び塀	さんらくそうもんおよびへい	1棟	庄原市東城町	平23.1.26	門 木造、瓦葺、間口1.8m 塀 木造、瓦葺、延長13m		敷地の東辺、離れ前面に造つ門と塀である。門は一間腕木門、切妻造棟瓦葺で、方立をたてて板戸を吊る。塀は、延長13m、肩下造棟瓦葺で、腰に幅広の横板を横張し、上部を土壁とする。いずれも檜の良材が用いられ、格調のある屋敷構えをつくる。 昭和前期建設。		
国	登録有形文化財(建造物)	普光寺観音堂(旧大田尋常高等小学校奉安殿)	ふこうじかんのんどう(きゅうおおたじんじょうこうとうしうがつこうほうあんでん)	1棟	世羅郡世羅町大田	平23.1.26	石造平屋建、建築面積3.3m ² 、基礎付		境内南寄りの山門西側に築いた龜甲石積の基壇上に建ち、間口、奥行とも1.8m、石造である。切石布積の軸体前面にたてたドス式風の円柱で庇を受ける。屋根は三段構成で、下段は下端を蛇腹状につくり、上段は切妻形で、妻面に蔓状の紋様を彫る。 昭和10年建設、昭和21年移築。		
国	登録有形文化財(建造物)	桜橋	さくらはし	1基	神石郡神石高原町	平23.1.26	鋼製アーチ橋、橋長70m、橋台付		神龍湖に架かる橋長70m、幅員4.8mの鋼製、中路式の道路橋。 プレーストリップを用いた2ヒンジアーチから吊材によって床板を吊り、橋の四隅には照明柱付の親柱をたてる。帝京駿遊観道路の施設として建設された軽快なデザインの近代橋梁。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧高橋家住宅主屋	きゅうたかはしけじゅうたくおもや	1棟	尾道市日比崎町	平23.7.25	木造2階建、瓦葺、建築面積230m ²		栗原川沿いの敷地中央に東面して建つ、桁行18m梁間13m、木造2階建、入母屋造棟瓦葺で、南東隅に接間と玄関を張り出す。周間を開放的に造り、屋根は入母屋破風を複合させ、接間間に洋風意匠を採用するなど、変化のある外観になる大型住宅である。		
国	登録有形文化財(建造物)	上下町商工会館(旧上下警察署庁舎)	じょうげちょうしょうこうかいかん(きゅうじょうけいさつしょじや)	1棟	府中市上下町	平23.7.25	木造2階建、鉄板葺、建築面積101m ²		上下町市街の道路沿いに建ち、桁行13m、梁間7.4m、木造2階建、寄棟造鉄板葺である。正面中央に張出した玄関ポーチの上部を塔屋状に立ち上げ、外壁は二連または三連の般長窓を配置する。鉄筋コンクリート造の外観形式を木造で表現した、もと警察署庁舎。		
国	登録有形文化財(建造物)	照林坊本堂	しょうりんぼうほんどう	1棟	三次市三次町	平23.7.25	木造平屋建、瓦葺、建築面積629m ²		境内の中央に東面して建つ、外陣と内陣、余間からなり、正面に広縁を設け、周囲の縁先に庇柱をたて、背面に後堂を設ける大規模な真宗本堂。入母屋造本瓦葺で、正面に向拝を付設。矢來内がなく、また当初は正面縁を側面前方へまわすなど、特徴的な平面となる。		
国	登録有形文化財(建造物)	照林坊客殿	しょうりんぼうきやくでん	1棟	三次市三次町	平23.7.25	木造平屋建、瓦葺、建築面積196m ²		本堂の西南に位置する。入母屋造妻入本瓦葺、正面に唐破風造玄関を付け、周囲に下屋をまわす。内部は対面所と、座敷部りを備える座敷に二分され、対面所は大トコを構える17畳半で、側面に箱の間、前方に玄関の間を付ける。近代における真宗対面所の一例。		
国	登録有形文化財(建造物)	照林坊御成の間	しょうりんぼうおなりのま	1棟	三次市三次町	平23.7.25	木造平屋建、瓦葺、建築面積117m ²		客殿の東南に廊下を介して続く、入母屋造棟瓦葺で、周囲に下屋をまわす。東西に三室を並べ、周囲に縁をまわし、南背面に浴室や便所を付設する。東端を主室とし、トコやトコ脇、付書院を構える。各室に棹縁天井を張り、砂壁として、落ち着きのある設えをなす。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	照林坊庫裏	しょうりんぼうくり	1棟	三次市三次町	平23.7.25	木造平屋建、瓦葺、建築面積315m ²		本堂の後方に位置する。切妻造妻入棟瓦葺で、北・東面に下屋を付ける。桁行22m梁間14mの大規模な庫裏で、正面寄りに土間を設け、東を大戸口、西を勝手口とする。居室部は梁行を三分して東列に収めを並べ、南奥に御内仏がある。近世の本格的な庫裏建築。		
国	登録有形文化財(建造物)	照林坊渡り廊下	しょうりんぼうわたりろうか	1棟	三次市三次町	平23.7.25	木造平屋建、瓦葺、建築面積60m ²		本堂と庫裏を繋ぐ東西棟の廊下。桁行21m梁間2.9m、両下造棟瓦葺。高く床を張り、化粧屋根裏天井。側柱筋には高欄を付けた。花頭窓を穿つ漆喰壁で南北に間仕切り、複廊とする。床下も中央筋に壁を設け、仕切る。寺格の高さを現わせる建築。		
国	登録有形文化財(建造物)	照林坊経蔵	しょうりんぼうきょうぞう	1棟	三次市三次町	平23.7.25	土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積20m ²		本堂の東北に南面して建つ。方3.8mの土蔵造、宝形造棟瓦葺で、一間向拝を付ける。鉢巻上に台輪を置き、出三斗組し、中備に墓股を飾る。軒は一軒繁垂木、内部は一室の板敷で、格天井を張る。見芯えのある組物や墓股、彫刻などが各所に配される。		
国	登録有形文化財(建造物)	照林坊鐘撞堂	しょうりんぼうかねつきどう	1棟	三次市三次町	平23.7.25	木造、瓦葺、面積16m ²		本堂の東南に位置する。切石積基壇に建つ桁行一間梁間一間の吹放ち鐘樓。入母屋造棟瓦葺。礎盤に斜付円柱を内転びに立て、真や合輪で固め、尾垂木付二手先きよを組む。柱間中央にも斗きょうを置き、その間に墓股を飾る。二軒繁垂木。近世建立となる良質な鐘樓。		
国	登録有形文化財(建造物)	照林坊山門	しょうりんぼうさんもん	1棟	三次市三次町	平23.7.25	木造、銅板葺、間口3.3m		本堂の前方に位置する。間口3.3mの四脚門。切妻造銅板葺で、正・背面に軒唐破風を付ける。組物は支輪付の出組で、正・背面は詰組に配する。二軒繁垂木。妻虹梁大瓶束。格天井を張り、両開板戸をたてる。絞形は複雜で、絞様も繊細で手が込んでいる。		
国	登録有形文化財(建造物)	県立入船山記念館旧高島砲台火薬庫	くれいりふねやまきねんかきゅうとうたかがらすほうだいかくやく	1棟	県立入船山記念館	平23.10.28			南北棟の切妻造棟瓦葺。桁行9.7m梁間4.2m、瘤出し仕上げの花崗岩を積み上げ、西面中央に欠円アーチの出入口を開ける。東・西面に2所、南・北面に1所の庇形窓を設ける。妻床下には欠円アーチを設け、換気に配慮する。重厚な倉庫の一例。		関連施設:県立入船山記念館 (0823-21-1037)
国	登録有形文化財(建造物)	福山市福寿会館本館	ふくやましふくじゅかいかんほんかん	1棟	福山市丸の内	平24.2.23			福山城北側の敷地北寄りに建つ、木造平屋建、建築面積385平方メートル。入母屋造棟瓦及び檜皮葺で、正面に破風造檜皮葺の玄間を開ける。21畳主室と次の間に縁を廻らし、主室は大振りで上質な座敷飾りを備える。庭園越しの天守眺望を意図した和風住宅。		
国	登録有形文化財(建造物)	福山市福寿会館西茶室	ふくやましふくじゅかいかんにしちやしつ	1棟	福山市丸の内	平24.2.23			本館西側に渡廊下を介して建ち、木造平屋建、建築面積67平方メートル、寄棟造棟瓦及び檜皮葺である。天守を望む10畳主室の西側に3畳台目の茶室、北側に2畳中板付茶室を配し、水屋を舟底天井とする。本館との調和がはかられた、瀟洒なつくりの数寄屋建築。		
国	登録有形文化財(建造物)	福山市福寿会館南茶室	ふくやましふくじゅかいかんみなみちやしつ	1棟	福山市丸の内	平24.2.23			池を挟んで本館の南側に建つ茶室で、望城亭とも呼ばれる。木造平屋建、建築面積78平方メートル、棟瓦及び檜皮葺で、3畳台目の小間と8畳の広間を庭園側に配し、裏手に水屋などをおく。京都の数寄屋大工笛吹嘉一郎の手による、意匠洗練で開放的な近代茶室。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	福山市福寿会館東蔵	ふくやましふくじゅかいかんひがしら	1棟	福山市丸の内	平24.2.23			本館北西側に廊下で接続する内蔵である。桁行9.9メートル梁間6.0メートル、土蔵造2階建、切妻造妻入で、本瓦葺の屋根に起りをもたせる。布石積の基礎上に建ち、外壁は漆喰塗で各階の腰に海鼠壁を廻す。建ちの高い土蔵で、敷地北西の景観を引締める。		
国	登録有形文化財(建造物)	福山市福寿会館西蔵	ふくやましふくじゅかいかんにしがら	1棟	福山市丸の内	平24.2.23			本館の北東に位置し、桁行6.9メートル梁間3.9メートル、土蔵造2階建、切妻造本瓦葺である。布石積の基礎上に建ち、外壁は漆喰塗で各階の腰に海鼠壁を廻す。1回南半は土間で、主屋台所に通じる西側に出口を開く。邸宅内で日用に供した土蔵の一例。		
国	登録有形文化財(建造物)	金原家住宅主屋	かねはらけじゅうたくおもや	1棟	東広島市	平24.8.13			湖畔の敷地に建つ。木造平屋建、建築面積231平方メートル、入母屋造(いりもやづり)桟瓦(さんがわら)葺で下屋(げや)を廻らし、正面に軒唐破風(のきからはふ)付の入母屋造玄関を構える。15畳主室は座敷飾を備えて吹寄(きよせ)折(おり)あげ格天井(こうてんじょう)を張るほか、随所に社寺建築の細部を取り入れる。材工ともに良質な近代和風住宅。		
国	登録有形文化財(建造物)	金原家住宅離れ	かねはらけじゅうたくはなれ	1棟	東広島市	平24.8.13			主屋西側に渡廊下を介して建ち、木造平屋建、建築面積31平方メートル、入母屋造桟瓦葺である。トコ横付けの1畳主室と次の間を並べ、南側に便所を配する。便所壁に木瓜形の格子窓を穿ち、渡廊下には花頭窓を設けるなど、小規模ながら灑落なつくりの離れ。		
国	登録有形文化財(建造物)	金原家住宅門	かねはらけじゅうたくもん	1棟	東広島市	平24.8.13			主屋玄関の北正面に建つ、木造平屋建、桁行(けたゆき)6.3メートル梁間(はりま)2.4メートル、切妻(きりづま)造桟瓦葺である。棟通りの中央間を間口3メートルの門口として板扉を吊り、両脇間を横板壁として西側に猪戸を開く。両側面は土壁とする。重厚な構えをもつ表門である。		
国	登録有形文化財(建造物)	福山市旧佐波浄水場配水池	ふくやましきゅうさばじょうすいじょうはいすいち	1棟	福山市佐波町	平25.3.29			福山市旧佐波浄水場は、福山市街の上水確保のため大正14年に竣工された浄水場施設である。配水池、浄水井、門から成る。福山市の水道史を物語る建物である。 配水池は、浄水場の東端に位置する。コンクリート造及び煉瓦造、南北32メートル東西29メートルで、深さ3.8メートルの池2基を南北に配する。東西面の中央を塔状にして点検用の出入口を開き、東面の上部に記念額を掲げる。		
国	登録有形文化財(建造物)	福山市旧佐波浄水場浄水井上屋	ふくやましきゅうさばじょうすいじょうじょうすいせいやわ	1棟	福山市佐波町	平25.3.29			配水池の西側に位置する浄水井の東側中央に建つ、煉瓦造及び石造、平屋建、東西41メートル南北30メートル、高さ2.6メートルである。東面の中央に出入口、残る3面の中央に縦窓を開く。簡素ながらも丁寧なつくりで、浄水場の景観に趣を添える。		
国	登録有形文化財(建造物)	福山市旧佐波浄水場門	ふくやましきゅうさばじょうすいじょうもん	1棟	福山市佐波町	平25.3.29			浄水場の東面北寄りに開く、石造及び煉瓦造、高さ2.4メートルの門柱を2.8メートル間隔で配する。その北側に1.1メートル間隔で小振りの柱を立てて通用門を設ける。煉瓦と石を交互に積んで積状にした特徴的な外観をもつ。浄水場施設の正面を整える。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧和泉家別邸	きゅういずみけべってい	1棟	尾道市三軒家町	H25.12.24			千光寺山西斜面の石垣上に立つ小住宅。木造2階建で下見板張の和館の南にモルタル塗の洋館を接続する。変形の小敷地を巧みに利用して造り、2階8畳敷数や階段の造作も丁寧である。入母屋屋根に切妻破風や小庇。露台をつけ、変化に富んだ屋根構成を見せる。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	みはらし亭	みはらしてい	1棟	尾道市東土堂町	H25.12.24			千光寺山東方斜面の参道に面する木造2階建。高い石垣の上に建ち、東面に縁を設けて尾道水道の眺望を得る。2階北端に12畳の主座敷を設け、南側の室は敷地形状により上下階とも変形平面を呈する。屋根は入母屋造棟瓦葺、軒は丸太の化粧垂木を隅扇に記する。		
国	登録有形文化財(建造物)	株式会社日新林業加計出張所	かぶしきがいしゃにしんりんぎょう かけしゅちょうしょ	1棟	山県郡安芸太田町	H25.12.24			街路に北面して建つ旧銀行店舗。木造平屋建であるが、正側面に庇をつけて、つしま2階建の町家風に見える。屋根は寄棟造棟瓦葺で、軒を出桁造の塗籠とする。庇上の窓は内部では高窓となる。正面腰のタイル貼は後の改修であるが、側背面に旧の腰壁堅板張が残る。		
国	登録有形文化財(建造物)	福山市旧山村役場	ふくやましきゅうやまのむらやくば	1棟	福山市山野町山野	H26.4.25	木造2階建、棟瓦葺	建築面積216.71m ²	木造二階建の入母屋造棟瓦葺造物で、二面に下屋を廻す。大棟側面の板瓦には「波に體」の図様を表す。鬼瓦にも意匠を凝らす。内部は1階が旧執務室で、二階は旧講堂で塗籠を吹抜とする。化粧垂木裏は半削丸大どしとする。県東部では現存最古の役場庁舎である。明治25年に建築され、昭和53年の改修以降、民泊資料館として使用されている。		開連施設: 山野民俗資料館 (084-974-2851)
国	登録有形文化財(建造物)	旧日の丸写真館	きゅうひのまるしゃしんかん	1棟	竹原市本町	H26.12.19			竹原市山原伝建地区の南西、本川左岸の道路沿い角地に所在する台形敷地一杯に建ち、西角を隅切(すみきり)とした平面で、三階は北角も斜めにする。二階に写真修業室、三階に写場と現像室を開ける。昭和7年頃に建築された後、昭和20年頃に改修されているものの、全体のかたちや開口部配置は当初を保持しており、特異な景観を創出している。		
国	登録有形文化財(建造物)	南拵坊本堂	なんぜんぼうほんどう	1棟	福山市鞆町	H26.12.19			本堂は、鞆町西側の寺院群内に構える南拵坊境内に東面する。桁行16メートル、梁間17メートル、入母屋造(いもやづり)木造(ほんがわらぶき)で、一間の向拝(こはい)を付す。内部を内陣、余間、外陣(げんじん)に区分し、前面に吹抜柱の広縁(ひろえん)、三方に落縁(おちえん)を廻す典型的な真宗本堂平面で、要所に時代相応の豪華な装飾を見せる。		
国	登録有形文化財(建造物)	南拵坊山門	なんぜんぼうさんもん	1棟	福山市鞆町	H26.12.19			一間一戸(いっけんいつ戸)四脚門(しきやくもん、よつあしもん)の上部に、一間四方で入母屋造本瓦葺の上層が増築され、鍾楼を吊る構造。※ 現在梵鐘は無い。福山藩の命令により安政5(1858)年に供出されたことと寺の文書で梵鐘の一件記録からかかづいている。上層は1811年の第12回通信使を迎える予定で増築工事を始めたものと考へられている。木部には全体に弁挿が施され、上層正面及び背面に火灯窓(かとうま)、両側面に円窓がある。隅棟(すみのりの)の鬼瓦に施された異なる形態の筋文が彫りされている。軒先の強い反りなど随所に、異国情緒を漂わせ、朝鮮通信使寄港地である鞆の浦の情景を彩る。		
国	登録有形文化財(建造物)	福泉坊本堂	ふくせんぼうほんどう	1棟	安芸高田市吉田町吉田	H26.12.19			郡山(こおりやま)旧城下町に所在する福泉坊の境内奥に建つ。桁行19メートル、梁間17メートル、入母屋造(いもやづり)棟瓦葺(さんわらぶき)である。外陣(げんじん)は朱漆(しゆし)の柱をもつた大柱門とし、内陣は外陣の隣には二間分の間隔(らんま)をまたぐ一対の龍を彫り、外陣組物には斜挿(しゃきょう)を用いるなど、当地で名工と謳われた西谷庄一の力量が示される。		
国	登録有形文化財(建造物)	福泉坊庫裏	ふくせんぼうくり	1棟	安芸高田市吉田町吉田	H26.12.19			郡山旧城下町に所在する福泉坊の境内奥に建つ本堂から、渡廊下を介して接続して建つ。北端は土間とし、南側に座敷などの居室を二列並ぶ平面で、南列中央間は仏間とする。西列の一部では側柱を一間ごとに立て、仏壇部分は旧規は浅い床(床の間の奥行きが浅いもの)としていた点などに古様を示し、当地の真宗寺院庫裏の一例となる。		
国	登録有形文化財(建造物)	福拵坊鐘楼	ふくせんぼうしょうろう	1棟	安芸高田市吉田町吉田	H26.12.19			福泉坊の境内西方に木堂と隣接して立つ一間四方の吹放ち鐘楼で、入母屋造(いもやづり)棟瓦葺(さんわらぶき)である。切妻造の基壇の上に石製基礎を置き、丸柱を四方軒びに立てて腰貫と頭貫、台輪で固め、尾垂木(おだるき)付の出組(でみ)を組詰(づくみ)とする。細部絵様や組物の充実した鐘楼で、真宗寺院伽藍を特徴付ける。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	福泉坊山門	ふくせんぼうさんもん	1棟	安芸高田市吉田町吉田	H26.12.19			本堂正面の西方に建つ。一間薬院門(やくいもん)で、切妻造(きりつしまづくり)棟瓦葺(さんわらぶき)とする。男栄(おほり)上に三斗を並べて軒(こづりよ)を受け、軒は二軒素垂木(ふたのきしけたるき)である。棟通り虹梁(こうりょう)上を雲龍彫刻で埋め、虹梁や男栄裏の絵様線形(えよりくわ)を江戸末期らしい筆やかなものとして境内正面を飾る。		
国	登録有形文化財(建造物)	西山本館	にしやまほんかん	1棟	尾道市十四日元町	H27.3.26			旧出雲街道に面して建つ現役の旅館。木造二階建と三階建の棟が複雑に組み合わされ、全ての客室が庭に面するよう工夫されている。丁寧な仕上げの致密屋(つきや)風の和室のほか、かつて外国人船員の宿泊にも対応して洋室三室を待つなど、港町の風情を醸す不思議旅館建築。		
国	登録有形文化財(建造物)	日野家住宅主屋	ひのけじゅうたくしゅおく	1棟	安芸高田市甲田町深瀬	H27.11.17	木造平屋建、瓦葺	建築面積441m ²	敷地中央に南面する。東の土間は重厚な梁組を現し、西の床上部は四列に四室前後を並べた広さを持つ。12畳の前側に茶室を設け、鍵型の座敷に縁を廻らし、上部には採光窓を設ける。近世民家の主構造を保持しつつ、近代らしい洗練さと開放性を併せもつ大型住宅。		
国	登録有形文化財(建造物)	日野家住宅洋館	ひのけじゅうたくようかん	1棟	安芸高田市甲田町深瀬	H27.11.17	木造2階建、瓦葺	建築面積92m ²	主屋南東に接続して建つ。外壁は横板張で欄間付の上下窓を並べ、寄棟造棟瓦葺とする。南面中央の出入口に幾何意匠の待合付庇を付す。1階に事務室と応接室、2階に集会室を配し、意の室内側に和紙のロールブロードなどを残す。瀟洒な意匠でまとめた洋館。		
国	登録有形文化財(建造物)	日野家住宅米倉	ひのけじゅうたくこめぐら	1棟	安芸高田市甲田町深瀬	H27.11.17	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積109m ²	敷地南方、表門の西に、南に流れる川に面して建つ2階建の土蔵。内部は2室に分かれ、それぞれ北方に鳥居型の枠を持つ出入口を設ける。もとは精米所や炊事場などを併設していた。宅地の表構えの一部を成す建物で、集落の歴史的な景観に寄与している。		
国	登録有形文化財(建造物)	日野家住宅納戸倉及び離れ	ひのけじゅうたくなんどぐらあよびはなれ	1棟	安芸高田市甲田町深瀬	H27.11.17	(納戸倉)土蔵造2階建、瓦葺 (離れ)木造平屋建、瓦葺	建築面積199m ²	主屋の北方西寄りに、離れを介して東西棟の納戸倉が建つ。離れは6畳2室と板間に縁を廻らせた開放的なつくり、納戸倉は桁行22メートルを測る大型の2階建土蔵で、短い軒を方柱で支持する。充実した規模を誇り、漆喰で塗込められた長大な外壁が田園風景に映える。		
国	登録有形文化財(建造物)	日野家住宅酒造倉	ひのけじゅうたくしゅぞうぐら	1棟	安芸高田市甲田町深瀬	H27.11.17	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積214m ²	納戸倉の東に接して東西棟で建つ、納戸倉同様、桁行22メートルの大型の2階建土蔵で、外壁漆喰塗とし、南面東寄りに塗戸を開く。内部柱は2本のみとして広大な空間をもつ。近世から生業とした酒造業を担った土蔵で、遡る納戸倉とともに雄大な屋敷構えを創る。		
国	登録有形文化財(建造物)	日野家住宅納屋	ひのけじゅうたくなや	1棟	安芸高田市甲田町深瀬	H27.11.17	木造2階建、瓦葺、門付	建築面積99m ²	敷地の東方に南北棟で建ち、桁行17メートル規模で壁を真壁造とする。もとは北半を資材納屋、南半を牛舎として使用し、北半は吹抜けの一層、南半は二階建ての上階を飼料置場とした。さらに南には、敷地東辺を画す門を附属する。田園越しの屋敷風貌を引立てる。		
国	登録有形文化財(建造物)	日野家住宅表門及び伴部屋	ひのけじゅうたくおもてもんおよひともべや	1棟	安芸高田市甲田町深瀬	H27.11.17	(表門)木造、瓦葺、間口3.6m、西方潜り戸付 (伴部屋)木造平屋建、瓦葺	建築面積13m ²	敷地の南正面に建つ、腕木門形式の表門の西方に、潜り戸を介して、平屋建の伴部屋が番所のように接続する。表門は木大く端正な佇まいで、広島新田藩吉田陣屋の門を移したとされる。伴部屋は正面に出格子窓を付ける。屋敷の表構えに風格ある趣を与える。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	日野家住宅御成門	ひのけじゅうたくおなりもん	1基	安芸高田市甲田町深瀬	H27.11.17	木造、銅板葺、間口1.7m		主屋西端間の御成屋敷に対して南正面に建つ、間口1.7メートルの一間腕木門で、上部に欄間を嵌める。門扉は八双金物を用いて板戸を吊る。主屋のもと御成屋敷前の主庭と前庭を区画する境界装置で、気品ある佇まいを見せて敷地内景観を引き立てる。		
国	登録有形文化財(建造物)	ヤマモトロックマシン(旧山本鉄工所)第一工場	やまもとろくましん(きゅうやまもとてこしょ)だいいちこうじょう	1棟	庄原市東城町東城	平28.2.25	木造平屋建、鉄板葺	建築面積1,421m ²	中国山地に開けた市街地に敷地を構える。削岩機製造で発展した。第一工場は中心となる木造建築。桁行78mと長大で、採光のため梁間を3スパンに分けて中央を高め、さらに越屋根を設けて工夫する。効率的な作業空間の実現により、機能美を備える。		
国	登録有形文化財(建造物)	ヤマモトロックマシン(旧山本鉄工所)第二工場	やまもとろくましん(きゅうやまもとてこしょ)だいにこうじょう	1棟	庄原市東城町東城	平28.2.25	木造平屋建、鉄板葺	建築面積521m ²	第一工場の北方に直交して建つ。桁行44mで、小屋にはキングポストトラスを架け、越屋根を設ける。南面と両側面には上下窓を並べて採光する。外壁はモルタル仕上げし、腰には洗出しお上げを施す。第一工場とともに工場の中核をなす建築。		
国	登録有形文化財(建造物)	ヤマモトロックマシン(旧山本鉄工所)仕上げ工場	やまもとろくましん(きゅうやまもとてこしょ)しあげこうじょう	1棟	庄原市東城町東城	平28.2.25	木造平屋建、鉄板葺	建築面積417m ²	第一工場の東方に並行して建つ。桁行38mで、小屋にはクイーンポストトラスを架け、越屋根を設ける。南面には上部を欠くアーチ形とした窓を設け、東西面には上下窓を並べて洋風意匠とする。洋風意匠で採光を工夫した戦前期地方工場建築の一例。		
国	登録有形文化財(建造物)	ヤマモトロックマシン(旧山本鉄工所)青年学校	やまもとろくましん(きゅうやまもとてこしょ)せいねんこうじゅく	1棟	庄原市東城町川西	平28.2.25	木造2階建、瓦葺	建築面積309m ²	敷地南寄りに建つ。木造2階建で、屋根は半切妻とする。1階を1室の倉庫、2階を学校として使った。2階は、中廊下を通して左右に3室ずつ並べ、4学年分の教室を設ける。製造現場で中心的な役割を果たした養成工に、教育を行っていたことを示す遺構である。		
国	登録有形文化財(建造物)	ヤマモトロックマシン(旧山本鉄工所)便所棟	やまもとろくましん(きゅうやまもとてこしょ)べんじょく	1棟	庄原市東城町東城	平28.2.25	木造平屋建、鉄板葺	建築面積18m ²	第一工場の西方に並行して建つ。従業員用の便所として建てられた。西に大便所、東に小便所と手洗いを並べる。耐震のためガラス窓を二重にしたり、建設当初より水洗式をしたりするなど、当時、先端の技術を集め、衛生的に配慮して建てられたことを示す。		
国	登録有形文化財(建造物)	ヤマモトロックマシン(旧山本鉄工所)自治寮家族棟	やまもとろくましん(きゅうやまもとてこしょ)じちりょうかぞくとう	1棟	庄原市東城町川西字新丁416-1他	平28.2.25	木造3階建、瓦葺	建築面積314m ²	工場群から遠を扶んで南に自治寮施設群が残る。家族棟は西寄りに南北棟で建つ。木造3階建で、屋根は半切妻とし、ドーマー窓を設けて洋風外観とする。内部は片廊下とし1・2階を和室の居室、3階は1室の会議室とする。職住分離した近代産業社会の有様を示す。		
国	登録有形文化財(建造物)	ヤマモトロックマシン(旧山本鉄工所)自治寮独身棟	やまもとろくましん(きゅうやまもとてこしょ)じちりょうぶくしんとう	1棟	庄原市東城町川西	平28.2.25	木造2階建、瓦葺、地下室付	建築面積407m ²	敷地東側に南北棟で建つ。木造2階建で、屋根を半切妻とし、桁行59mの長大な平面を持つ。西に片廊下を通して、東に押入れ付の10畳居室を並べる。廊下、居室とも間口を広ぐる。戦中から高度成長期にかけての第2次産業を支えた職員住宅である。		
国	登録有形文化財(建造物)	ヤマモトロックマシン(旧山本鉄工所)自治寮食堂・娛樂室棟	やまもとろくましん(きゅうやまもとてこしょ)じちりょうしょくどう・ごらくしつ	1棟	庄原市東城町川西	平28.2.25	木造2階一部平屋建、瓦葺	建築面積281m ²	家族棟と独身棟の間に建つ。木造2階建で南北棟の食堂及び娛樂室に、平屋建で東西棟の炊事場及び炊事夫部屋が附属する。1階食堂、2階娛樂室とも1室の大空間とし、プレス成型された銅製の天井板を張る。戦前期における自治寮の生活の様相を伝える。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造事務所	ふくびじんしゅそうじむしょ	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	木造2階一部平屋建、瓦葺	建築面積147平方メートル	恵比寿蔵と呼ばれる中心となる敷地の南面出入口西脇に建つ。2階建で外壁を横板張とした洋風外観を持つ建物で、1階をカウンターと執務室を備えた事務室、2階を和室とする。大正期における西条の造酒屋では典型的となった出入口脇の洋風事務空間。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造一号蔵	ふくびじんしゅそういちごうら	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	土蔵造2階一部平屋建、瓦葺	建築面積694平方メートル	恵比寿蔵と呼ばれる中心敷地の主たる酒蔵。敷地中央北寄りに東西棟で建つ。桁行20メートル2階建土蔵の東棟と、桁行23メートル2階建土蔵の西棟を平屋建の中央棟で繋いだ平面となる。造酒屋の中心建物として、計約47メートルの桁行を誇る大型の土蔵。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造背戸蔵	ふくびじんしゅそうせとぐら	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	木造2階建一部平屋建、スレート葺	建築面積209平方メートル	恵比寿蔵と呼ばれる中心敷地の北辺に構える土蔵で、一号蔵の背面に位置する。東西棟で、桁行26メートル平屋建の東棟と、桁行11メートル2階建の西棟からなる。一号蔵を拡張するように東棟が、統いて西棟が増築されたと見られ、敷地北側の街路景観を成す。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造二号蔵	ふくびじんしゅそうにごうら	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積410平方メートル	恵比寿蔵と呼ばれる中心敷地の東辺に構える土蔵。南北棟の土蔵造2階建で、屋根には赤瓦を葺く。小屋組は、和小屋の多い西条では希少な、キングポストトラスを組む。白漆喰を基調とした長大な外壁が造酒屋の建ち並ぶ西条の町並みの一面を構成する。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造昭和蔵	ふくびじんしゅそうじょうわくら	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	木造平屋建、スレート葺	建築面積138平方メートル	恵比寿蔵と呼ばれる中心敷地の北東隅、背戸蔵から並んで東側に東西棟で建つ。平屋建で、小屋組はキングポストトラスを組む。切妻造の屋根を採用。内部に大型のタンクを並べるため、窓を軒下の高い位置に開ける。背戸蔵と並んで通りの景観に寄与する。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造福音寮	ふくびじんしゅそうふくじんりょう	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	木造2階建、瓦葺	建築面積85平方メートル	一号蔵の西側に並んで建ち、西には従業員寮が接続する。東西棟の2階建で、通りに面した北側には敷地形状に合わせた台形平面の下屋をかけて平屋建を張り出す。三叉路の突き当りに位置することから、黒色に塗られた下見板が白壁の土蔵群にアクセントを付ける。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造従業員寮	ふくびじんしゅそうじゅぎょういんりょう	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	木造2階建、瓦葺	建築面積120平方メートル	福音寮の西側に連続して建つ。東西棟の2階建とする。外壁は下見板張を基調とする。1階には数段の更衣室と土間、2階には従業員宿舎を置く。仕込み蔵に隣接して、季節労働者としての社氏や蔵人らが起居する生活空間を残している点で貴重である。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造瓶詰場	ふくびじんしゅそうびんづめじょう	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	木造平屋建、瓦葺	建築面積164平方メートル	事務所の西側に箱詰場を介して建つ。東西棟の切妻造平屋建で、赤瓦を葺く。外壁は軒下まで塗りめて土蔵風に見せるが、窓ガラスを多用して、明るい作業空間を実現する。衛生に配慮して鏡天井を張り、内部は板壁とする。漆喰壁に窓が連続する外観が特徴。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造恵比寿蔵煙突	ふくびじんしゅそうえびすうらんとつ	1基	東広島市西条本町	平28.8.1	煉瓦造	高さ24メートル	恵比寿蔵と呼ばれる中心敷地の中央に建つ煉瓦造煙突。高さ約24メートル。基部では一边が約2メートルの角型で、最上部には蛇腹の装飾を施す。煉瓦をイギリス積で積み上げ、周囲の赤瓦と呼応して、土蔵の白壁に映える西条独特の造酒屋の景観を作り上げる。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造門柱	ふくびじんしゅぞうもんちゅう	1基	東広島市西条本町	平28.8.1	石造	間口6.1メートル	東比非蔵と呼ばれる中心敷地の南辺中央に開く門。間口6.1メートルで、石柱2本を立てる。石柱は花崗岩製で、一辺82センチメートルの方形で、高さ2.2メートル。隅を面取りし、表面には曲線の彫りを施して装飾とする。酒造所の表構えを成す。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造三号蔵	ふくびじんしゅぞうさんごうらぐら	1棟	東広島市西条末広町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺、井戸付	建築面積785平方メートル	大黒蔵と呼ばれる敷地中央に東西棟で建つ。土蔵造2階建、切妻造。瓦葺の屋根に赤瓦を葺く。南面に下屋を付し、井戸を備える。1階は土間とし、2階には後段の天井を張る。桁行5.8メートルで、東西に二分した長大な平面を持つ。創業後の拡張の過程を示す遺構。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造四号蔵北棟	ふくびじんしゅぞうよんごうらきたん	1棟	東広島市西条末広町	平28.8.1	土蔵造2階建、スレート葺	建築面積406平方メートル	大黒蔵と呼ばれる敷地の東側北寄りに南北棟で建つ。土蔵造2階建、切妻造。小屋はキングポストトラスを組む。西面には二重梁で下屋をかける。北面には板壁を張り、窓には漆喰塗込の格子をはめて堅間に見せる。敷地いっぱいに酒蔵が建ち並ぶ独特な美観を成す。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造四号蔵南棟	ふくびじんしゅぞうよんごうらみなみ	1棟	東広島市西条末広町	平28.8.1	土蔵造2階建、スレート葺	建築面積406平方メートル	大黒蔵と呼ばれる敷地の東側北寄りに南北棟で建つ。土蔵造2階建、切妻造。小屋はキングポストトラスを組む。西面には二重梁で下屋をかける。北面には板壁を張り、窓には漆喰塗込の格子をはめて堅間に見せる。敷地いっぱいに酒蔵が建ち並ぶ独特な美観を成す。		
国	登録有形文化財(建造物)	福美人酒造三号蔵煙突	ふくびじんしゅぞうさんごうらえん	1基	東広島市西条末広町	平28.8.1	煉瓦造	高さ27メートル	大黒蔵と呼ばれる敷地の中央、三号蔵の南に附属して建つ。基部で一辺2.2メートルを測る角型のイギリス積煉瓦造煙突で、高さは27.1メートルになる。安芸津町で焼いた煉瓦を用いたといいう伝えがあり、西条に現存する煉瓦造煙突では最も高いものとなる。		
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂泉酒造店舗兼主屋	かもいすみしゅぞうてんぱけんしゅ	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	木造2階建、瓦葺	建築面積179平方メートル	通りに面して建つ。平面は、東に土間を通し、西に2列6室の室を並べる。西列中室を仏間、奥室を10畳の主座敷とし、本格的な座敷飾を備える。正面側には2階を設ける。正面外観は開口部の縦格子を基調とし、2階には袖室を設けて伝統的な町家の趣となる。		
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂泉酒造新座敷	かもいすみしゅぞうしんざしき	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	木造2階建、瓦葺	建築面積229平方メートル	店舗兼主屋の西側に接続して建つ。南には重森三玲作の庭が広がり、そちらへの眺望を意識して広い縁を設けた。東寄りに東西続きの3室を、西寄りに南北続きの2室を配し、それぞれ新座敷を凝らした座敷飾りや天井を持ち、接客を意識した建物である。		
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂泉酒造土蔵	かもいすみしゅぞうどぞう	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積16平方メートル	新座敷の北西に接続して建つ内蔵。元は主屋の西に接して建っていたというが、新座敷建設時に現在地へ曳家された。1階東面に鉄格子付の窓を二つ並べるほかは窓を持たない明鏡的な空間となる。北面には水切瓦を1列入れて、外観上の特徴とする。		
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂泉酒造門及び塀	かもいすみしゅぞうもんおよひへい	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	門 木造、瓦葺 塀 木造、瓦葺	門 間口2.7メートル 塀 延長15メートル	敷地北辺を面す門及び塀で、店舗兼主屋から土蔵までを繋ぎ、新座敷の玄関前に門を開く。門は柔医門形式で切妻造棟瓦葺とする。塀は真壁造として、通りに面した側は、下部に板を張り、上部を漆喰で仕上げる。いずれも赤瓦を葺いて、通りの景観を印象付ける。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂泉酒造前蔵	かもいすみしゅぞうまえぐら	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積199平方メートル	店舗兼主屋から通りを挟んだ北側に南面して建つ。2階建の土蔵で、小屋組はキングポストトラスとする。外壁は白漆喰で、腰は水平に瓦を貼る海鼠壁とし、妻側上部には水切瓦を入れる。店舗兼主屋や門及び堀と共に酒蔵の建ち並ぶ旧西国街道の景観を構成する。		
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂泉酒造通路棟	かもいすみしゅぞうつうろとう	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積159平方メートル	店舗兼主屋の南辺東端と、中蔵及び東蔵の北辺とを結び、西辺は火蔵と接続する南北棟の建物。土蔵造2階建で、現在は各土蔵と店舗兼主屋を繋ぎ、商品倉庫として用いられているが、当初は酒蔵として建てられたと見られる。賀茂泉酒造創設時期の状況を伝え。		
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂泉酒造火蔵	かもいすみしゅぞうひぐら	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積355平方メートル	通路棟の西に接続する2階建土蔵。北東棟と南北棟の2棟を包摂して東西棟の1棟となったもの。重森三玲が新座敷に作庭した後、その指示に従って海鼠壁を貼る改修を行い、庭園の背景として調和させた。酒造のみならず、庭園空間の構成要素となる土蔵である。		
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂泉酒造中蔵及び東蔵	かもいすみしゅぞうなかぐらおよびひがしぐら	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積324平方メートル	通路棟の南に接続して建つ。1階の通路を挟んで東を東蔵、西を中蔵と呼ぶが、東西棟の1棟である。土蔵造2階建で、外壁は白漆喰塗の大壁とする。窓には漆喰塗の格子を立て、東妻側には水切瓦を入れる。赤瓦を葺く規模の大きな酒蔵である。		
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂泉酒造煙突	かもいすみしゅぞうえんとつ	1基	東広島市西条上市町	平28.8.1	煉瓦造	高さ約18メートル	中蔵及び東蔵の東に立つ煉瓦造煙突、角型で、基部が一辺1.6メートル、高さ17.7メートルとなる。煙突の上部には蛇腹の装飾を備える。他の西条の煉瓦造煙突と同様、煉瓦をイギリス積とする。使用は停止されたが、象徴的な景観として親しまれている。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧広島県西条清酒酿造支場本館	きゅうひろしまけんせいじょうせいしうじょうぞうしじょうほんかん	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	木造2階建、瓦葺	建築面積101平方メートル	広島県食品工業試験場の支場として開設された。賀茂泉酒造の南に敷地を構える。本館は北面して建つ南北棟半切妻の2階建洋館で、元は1階が実験室、2階が事務室である。正面には柱間に庇を設け、ポーチとする。醸造技術開発の拠点として用いられた施設。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧広島県西条清酒酿造支場精米所	きゅうひろしまけんせいじょうせいしうじょうぞうしじょうせいいじょ	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	木造平屋建、スレート葺	建築面積138平方メートル	本館の南に連り廊下を介して接続して建つ、南北棟の平屋建であるが、酒造用の精米機の高さに合わせて棟の高さをえみ、南に向けて3段に高めてゆく特徴的な立面を持つ。外壁は横板壁とし、切妻造の屋根頂部にはフィニアルを揚げて洋風意匠を見せる。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧広島県西条清酒酿造支場醸造蔵	きゅうひろしまけんせいじょうせいしうじょうぞうしじょうじょうぞうぐら	1棟	東広島市西条上市町	平28.8.1	鉄筋コンクリート造2階建、瓦葺	建築面積396平方メートル	本館の東方、賀茂泉酒造火蔵の南方に東西棟で建つ。南には下屋を架けて張り出す。鉄筋コンクリート造2階建の醸造蔵で、小屋は鋼製のアンダルームを用いてキングポストトラスに組む。西条の醸造施設としては最も古い鉄筋コンクリート造施設の一つとなる。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧広島県西条清酒酿造支場煙突	きゅうひろしまけんせいじょうせいしうじょうぞうしじょうえんとつ	1基	東広島市西条上市町	平28.8.1	鉄筋コンクリート造	高さ19メートル	醸造蔵に附属する煙突で、醸造蔵の南に立つ、鉄筋コンクリート造の丸型煙突で、基部の直径は約1.3メートル、高さは約19メートルとなる。大阪鐵筋混凝土工務所の施工。醸造蔵と共に、西条の鉄筋コンクリート造施設としては最も古いものの一つ。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	旧広島県西条清酒醸造支場門柱	きゅうひろしまけんさいじょうせい しきょうぞうしじゅもんちゅう	1基	東広島市西条上市町	平28.8.1	コンクリート造	間口4.6メートル	旧広島県西条清酒醸造支場の正門として立てられた。鉄筋コンクリート造の門柱で、表面は洗い出し仕上げとする。側面の隅部には3段の段継を施して装飾とする。門柱の上部には照明用ブラケットの金具があり、元は上部に照明が付いていたと見られる。		
国	登録有形文化財(建造物)	亀齢酒造洋館	きれいしゅぞうようかん	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	木造平屋建、瓦葺	建築面積18平方メートル	敷地の南辺西寄りに接道して建つ。北は事務所と接続する。屋根は半切妻の桟瓦葺とする。平屋建の洋風建物で、内部は一室の広間間に仕切られた複数の部屋がある。天井は菊文様形の格天井とする。窓は上げ下げ窓とする。洋風建物を併設した西条の造酒屋の典型例。		
国	登録有形文化財(建造物)	亀齢酒造一号蔵	きれいしゅぞういちごうら	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積642平方メートル	中心敷地の東辺北寄りに南北棟を建て、更に北辺に沿って東西棟を接続した矩折れの平面を持つ。南北棟は桁行34メートルで土蔵造2階建、西面に下屋を付す。東西棟は桁行17メートルの土蔵造2階建、西面を半切妻とする。外壁の白漆喰に赤瓦が映える。		
国	登録有形文化財(建造物)	亀齢酒造一号蔵煙突	きれいしゅぞういちごうらえんとつ	1基	東広島市西条本町	平28.8.1	煉瓦造	高さ24m	中心敷地の中央に建つ。煉瓦造の角型煙突で、基底部は一辺が1.9メートルとなる。高さは24メートル。煉瓦は西条の煉瓦造煙突よく見られるイリス積とすると。上部には蛇腹を付けて装飾を施す。街中に屹立する煙突の1本で、酒造りの町を特徴付けている。		
国	登録有形文化財(建造物)	亀齢酒造門柱	きれいしゅぞうもんちゅう	1基	東広島市西条本町	平28.8.1	石造、脇柱付	間口5.4メートル	洋館の東協、敷地南辺の中央に開く門。洋館の奥家に併せて立てたという。花崗岩製の門柱で、西側の柱には金属性製表札をはめる。一辺82センチメートル、高さ2.5メートル。表面を磨(こ)しして仕上げ、隅を唐戸面のように取って立体感を出し、表構えを作る。		
国	登録有形文化財(建造物)	亀齢酒造五号蔵	きれいしゅぞうごうごうら	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積597平方メートル	中心敷地から道を挟んで北東の敷地に構える土蔵。中央棟は東西棟の2階建で、東を切妻、西を入母屋造とする。中央棟を増築する形で、敷地いっぱいに北棟を並行して建てる。北棟は白漆喰の外壁に、腰には彫字(さざらこ)下見を張って、街路景観を形成している。		
国	登録有形文化財(建造物)	亀齢酒造七号蔵煙突	きれいしゅぞうななごうらえんとつ	1基	東広島市西条本町	平28.8.1	煉瓦造	高さ約20メートル	中心敷地から150メートルほど北東の敷地に建つ七号蔵に附屬する煙突。戦後の一時期、ここで醸造が行われており、その施設の一部と伝わる。基部の直径が1.7メートル、高さ19.5メートルで、西条地区に唯一残る円形の煉瓦煙突となる。		
国	登録有形文化財(建造物)	西條鶴醸造店舗兼主屋	さいじょうつるじょうぞうてんぱくや しゃおく	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	木造2階建、瓦葺	建築面積155平方メートル	南北に細長い敷地の南西端に接道して建つ店舗兼主屋。正面西側には跳ね上げ式の大戸を介して土間を通し、東側に居室5室を並べる。正面から2室目の4畳半を居室への入り口とし、背面側の8畳座敷には床周りには銘木を用いるなど意匠を凝らす。		
国	登録有形文化財(建造物)	西條鶴醸造角屋	さいじょうつるじょうぞうのや	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	木造2階一部3階建、スレート葺、井戸付	建築面積85平方メートル	店舗兼主屋の背面に接して建つ。1階は主に土間とし、2階に居室を配す。南寄りには望楼状の3階を設け、室内は洋風意匠でまとめる。内部に「天保井水」と称される井戸を備える。屋根周囲もスレート葺とするなど、敷地内の意匠上のハイライトとなる建築である。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	西條鶴醸造酒宝蔵醸造蔵	さいじょうつるじょうぞうしゅぼうらじょうぞうら	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積153平方メートル	敷地背面寄りの酒宝蔵と呼ばれる一連の蔵のうち、南寄りに建つ。桁行10間、梁間4間半で、土蔵造2階建、切妻造平入の赤瓦葺。壁は漆喰塗で外側を大壁、内部は真壁とする。小屋組はトラスで、東半のみ2階床を張る。敷地の中で醸造機能の中核をなす建物。		
国	登録有形文化財(建造物)	西條鶴醸造酒宝蔵仕込蔵	さいじょうつるじょうぞうしうぼうらしうみぐら	1棟	東広島市西条本町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積221平方メートル	敷地背面寄りの酒宝蔵と呼ばれる一連の蔵のうち、北寄りに建つ。桁行10間梁間6間で、やや不整形の平面とする土蔵造赤瓦葺。小屋組はトラスで、東半の一部を吹き抜けとする。壁は漆喰塗で背面側は腰下見板張、内部は真壁とする。格子窓が並ぶ外壁が特徴的。		
国	登録有形文化財(建造物)	西條鶴醸造酒宝蔵煙突	さいじょうつるじょうぞうしゅぼうらえんとつ	1基	東広島市西条本町	平28.8.1	煉瓦造	高さ19メートル	敷地中央、角屋の西側に位置する。方形の煉瓦造煙突で、基部の一边1.7メートル、高さ19メートル。醸造蔵の南に位置する塩場から煙道を介してこの煙突に排出される。醸造業が集中し、煙突が数多く残る西条の景観を特徴付ける。		
国	登録有形文化財(建造物)	山陽鶴醸造黒松一号蔵	さんようつるしゅぞうくまついちごうら	1棟	東広島市西条岡町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積207平方メートル	敷地の南寄りに建つ。切妻造平入の大規模な土蔵造2階建で、桁行6間、梁間5間の主部に、西面と南面に下見板を取り付け、外壁は下見板張りで、小屋はトラス。屋根は桟瓦葺である。広大な赤瓦の屋根面と妻面で、西条の景観を形成する建物である。		
国	登録有形文化財(建造物)	山陽鶴醸造黒松二号蔵	さんようつるしゅぞうくまつにごくら	1棟	東広島市西条岡町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積179平方メートル	黒松一号蔵の背面に接して建つ。土蔵造2階建、桁行10間、梁間5間で、南北棟の長方形平面である。内部は南北のみ2階床を張り、北側は吹き抜けとする。小屋組はトラスで、陸梁と合掌材には丸太材を用いる。長大な屋根面が地区的な景観を特徴付けています。		
国	登録有形文化財(建造物)	山陽鶴醸造黒松三号蔵	さんようつるしゅぞうくまつさんごうら	1棟	東広島市西条岡町	平28.8.1	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積78平方メートル	黒松二号蔵の東側に、やや軸を振って建つ。桁行6間、梁間4間の2階建土蔵造で、全面に2階床を張るが、階段は設けず、2階には二号蔵から出入りする。外壁は下見板張、内壁は漆喰塗真壁とする。街路に面した下見板張りが往時の景観を今に伝えている。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧万寿之井酒造酒造蔵	きゅうますのいしゅぞうしゅぼうら	1棟	三次市三次町	平29.5.2	木造2階建、瓦葺、煙突付	建築面積298m ²	西城川の右岸に位置し、長大な立面を見せる酒造蔵。桁行31メートル、梁間9.8メートルで、煙突が附属する。後補の南4間分は1階を検査室と培養室、2階を麹室とし、北側は1階を仕込み蔵、2階を酒母蔵とする。河港として栄えていた三次の歴史を今に伝える。 明治前期／昭和前期増改築		
国	登録有形文化財(建造物)	三宅家住宅主屋	みやけけじゅうたくしゅおく	1棟	安芸郡海田町稻荷町	平29.5.2	木造2階建、瓦葺	建築面積125m ²	旧山陽道に面する商家。妻入のツン2階建、桟瓦葺。東側に通り土間を通し、妻側から、ミセ、ゲンカ、ナガノ、ザシキの1列4室を並べる。正面に奥行1間の大窓下屋座を設け、ツン2階の正面は塗籠の軸組を見せ、街道沿いの歴史的景観を今に伝えている。 江戸時代後期／明治中期改修		
国	登録有形文化財(建造物)	三宅家住宅衣裳蔵	みやけけじゅうたくいしうがら	1基	安芸郡海田町稻荷町	平29.5.2	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積63m ²	南北に細長い敷地の、中ほど東寄りに建つ。桁行5間、梁間3間、2階建土蔵で、屋根は桟瓦葺。内部は1、2階とも1室とし、西側正面には全長に渡って1間幅の庇をかけ、南端部のみ囲って道具入れとする。近世商家の屋敷構えを構成する建物である。 江戸時代後期		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	三宅家住宅新蔵	みやけじゅうたくしんぐら	1棟	安芸郡海田町稻荷町	平29.5.2	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積21m ²	敷地中ほどの西寄りに建ち、衣裳蔵と対面する。桁行3間、梁間2間、2階建で、屋根は桟瓦葺。正面中央やや北寄りの扉口を設け、1、2階とも正面のみに半間幅、鉄格子の内側に内開きの垂れ戸とする窓を開く。敷地内の土蔵の中では最も丁寧な作りになる。 明治後期		
国	登録有形文化財(建造物)	三宅家住宅古米蔵	みやけじゅうたくふるこめぐら	1棟	安芸郡海田町稻荷町	平29.5.2	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積43m ²	敷地中央西側、新蔵の南に建つ。桁行5間、梁間3間、2階建で、1階中央に扉口を開き、その両側に窓を設け、2階には窓4箇所を開く。1階開口部には板庇を設ける。敷地内には最も規模が大きい土蔵で、白壁に窓を開く外観が、敷地景観を形づけている。 江戸時代後期		
国	登録有形文化財(建造物)	三宅家住宅新米蔵	みやけじゅうたくしんこめぐら	1棟	安芸郡海田町稻荷町	平29.5.2	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積29m ²	敷地中央東側、衣裳蔵の南に建ち、古米蔵と対面する。桁行3間、梁間2間と小規模な2階建で、1、2階ともに室とし、南面に窓2箇所を開く。正面側には全長に渡って庇を設けている。敷地南端の表長屋門近くにあって、小作米を貯蔵していた土蔵である。 明治時代後期		
国	登録有形文化財(建造物)	三宅家住宅裏長屋門	みやけじゅうたくらがやもん	1棟	安芸郡海田町稻荷町	平29.5.2	木造平屋造、瓦葺	建築面積53m ²	敷地南端を画す長屋門、元は瀬野川旧流路の河岸に面していた。桁行8間半、梁間1間半の東西棟の中央やや西寄りに門口を開き、その西は桁行3間、梁間2間の規模で北に延ばして厩舎とする。水陸の中継商業で栄えた海田町の歴史を今に伝える建物である。 江戸時代後期		
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造本社事務所	かもつるしゅぞうほんしゃじむしょ	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	木造2階建、瓦葺	建築面積108m ²			昭和前期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造研究室棟	かもつるしゅぞうけんしきうしきう	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	木造平屋建、瓦葺	建築面積34m ²			昭和前期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造二号蔵東西棟	かもつるしゅぞうにごうぐらとうざいとう	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積723m ²			明治後期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造二号蔵南北棟	かもつるしゅぞうにごうぐらなんぱくとう	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積625m ²			明治後期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造二号蔵東井戸	かもつるしゅぞうにごうぐらひがしいど	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	石造	面積1.7m ²			明治後期

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造二号蔵西井戸	かもつるしゅぞうにごうらにしいど	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	石造	面積2.6m ²			明治後期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造二号蔵煙突	かもつるしゅぞうにごうらえんとつ	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	煉瓦造	面積2.1m ²			明治後期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造三号蔵	かもつるしゅぞうさんごうら	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積918m ²			大正前期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造三号蔵煙突	かもつるしゅぞうさんごうらえんとつ	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	煉瓦造	面積3.6m ²			大正前期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造四号蔵	かもつるしゅぞうよんごうら	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積1,099m ²	西条の酒蔵群の北寄りに位置する。敷地南端に建つ洋風堂の本社事務所、研究室棟の背後に二号蔵、三号蔵、四号蔵、八号蔵が立ち並び、それぞれの井戸、煙突なども建つ。蔵は漆喰壁の下部を海鼠壁とし、酒造の街の特色ある景観を作成する。また、いずれも規模の大きな建物で、特にL字型平面を持つ三号蔵の二階部分は、内部に間仕切りを設けず「長大な一室」とするなど、見所も多い。煉瓦造の煙突はそれぞれ上部に「賀茂鶴」、「賀茂鶴第三蔵造場」、「賀茂鶴第四蔵造場」などの文字を掲げ、地域のランドマークとして広く親しまれている。蓬莱庵画室棟は東京都文京区の日本画家児玉希望自邸内の画室及び茶室を移築したもの。		大正後期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造四号蔵井戸	かもつるしゅぞうよんごうらいど	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	石造	面積3.4m ²			大正後期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造四号蔵煙突	かもつるしゅぞうよんごうらえんとつ	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	煉瓦造	面積2.3m ²			大正後期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造八号蔵煙突	かもつるしゅぞうはちごうらえんとつ	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	煉瓦造	面積2.4m ²			昭和前期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造蓬莱庵画室棟	かもつるしゅぞうはうらいあんがしつとう	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	木造平屋建、瓦葺	建築面積93m ²			昭和前期／平成17年移築

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造一号蔵西棟	かもつるしゅぞういちごうらにしどう	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積528m ²			明治前期／大正期・昭和前期増築、平成28年改修
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造一号蔵東棟	かもつるしゅぞういちごうらひがしどう	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積175m ²			明治前期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造一号蔵北土蔵	かもつるしゅぞういちごうらきたどぞう	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積31m ²			明治前期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造一号蔵南土蔵	かもつるしゅぞういちごうらみなみどぞう	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造平屋建、瓦葺	建築面積41m ²			明治前期
国	登録有形文化財(建造物)	賀茂鶴酒造一号蔵井戸	かもつるしゅぞういちごうらいど	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	石造	面積3.2m ²			明治前期
国	登録有形文化財(建造物)	旧石井家住宅主屋	きゅういしいけじゅうたくしゅおく	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	木造2階建、瓦葺	建築面積171m ²	酒造業者の住宅主屋と土蔵。いずれも大正期に建てられたもので、正面右手に土間を廻し、左手に居室を設ける。		大正期
国	登録有形文化財(建造物)	旧石井家住宅土蔵	きゅういしいけじゅうたくどぞう	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積45m ²			大正期
国	登録有形文化財(建造物)	白牡丹酒造延宝蔵南端棟	はくばたんしゅぞうえんぱうらなんたんどう	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積115m ²			江戸中期／江戸後期・昭和中期改修
国	登録有形文化財(建造物)	白牡丹酒造延宝蔵北端棟	はくばたんしゅぞうえんぱうらほくたんどう	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積505m ²	旧西国街道に面し、西条の酒蔵群の南西寄りに位置する。敷地の西側に長い立面を見せる南端棟。その		明治前期／昭和34年増築

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	白牡丹酒造延宝蔵井戸	はくばたんしゅぞうえんぼういど	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	石造	面積2.7m ²	北に伸びるL字型平面の北端棟と、石造の重厚な井戸屋形を備える井戸。煉瓦造の煙突が並ぶ。		江戸中期／昭和中期改修
国	登録有形文化財(建造物)	白牡丹酒造延宝蔵煙突	はくばたんしゅぞうえんぼうえんとつ	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	煉瓦造	面積3.7m ²			明治前期
国	登録有形文化財(建造物)	白牡丹酒造天保蔵仕込蔵	はくばたんしゅぞうてんぽうらしこみぐら	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積307m ²			昭和前期
国	登録有形文化財(建造物)	白牡丹酒造天保蔵精米所	はくばたんしゅぞうてんぽうらせいまいじょ	1棟	東広島市西条本町	平29.6.28	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積121m ²			明治後期／昭和36年頃増改築
国	登録有形文化財(建造物)	白牡丹酒造天保蔵井戸	はくばたんしゅぞうてんぽういど	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	石造	面積1.1m ²	延宝蔵から旧西国街道を挟んで南東方に位置する。昭和前期に建てられた大規模な蔵である仕込蔵。敷地南方に位置する精米所、及び井戸と煉瓦造の煙突が並ぶ。煙突は地域の煉瓦造煙突の中でもひときわ高く「白牡丹」の字を掲げてランドマークとなっている。		江戸末期
国	登録有形文化財(建造物)	白牡丹酒造天保蔵煙突	はくばたんしゅぞうてんぽうえんとつ	1基	東広島市西条本町	平29.6.28	煉瓦造	面積2.8m ²			明治前期
国	登録有形文化財(建造物)	小島屋土蔵	こじまやどぞう	1棟	東広島市西条本町	平29.10.27	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積28m ²	酒造蔵が建ち並ぶ西条中心地に現存する土蔵の中でも古く、天保7年(1836年)建築である。置屋根形式で外壁は基礎石上に堅(たて)板を高く張り、西条の景観を特徴づける。		天保7(1836)年／平成28年改修
国	登録有形文化財(建造物)	桑田家住宅主屋	くわだけじゅうたくしょおく	1棟	府中市本山町	平29.10.27	木造平屋建、茅葺(銅板仮葺)	建築面積174m ²			江戸末期／明治前期・昭和前期・昭和42年頃・平成26年改修
国	登録有形文化財(建造物)	桑田家住宅離れ	くわだけじゅうたくはなれ	1棟	府中市本山町	平29.10.27	木造平屋建、瓦葺	建築面積65m ²	崖地に高い石垣を築いて整形した土地に建つ農家。主屋は江戸末期の当地方における標準的平面を持つ大型農家で、西側に建つ離れは昭和期の建築で、屋敷に琵琶(びわ)床を設け、細部意匠に凝る。石垣は6メートル超と高く積み、打ち込み接ぎの精緻なもので、塀は土塀で漆喰塗とし、地域の景観を特徴付けている。		江戸末期／明治前期・昭和前期・昭和42年頃・平成26年改修

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	桑田家住宅石垣及び塀	くわだいじゅうたくいしがきよひへい	1基	府中市本山町	平29.10.27	石垣:石造 塀:土塀、瓦葺	石垣:延長38m 塀:延長30m			明治後期／昭和前期増築
国	登録有形文化財(建造物)	瀬口家住宅表門及び土塀	たきぐちけじゅうたくらもんおよひどべい	1棟	庄原市春田町	平30.3.27					明治35年頃
国	登録有形文化財(建造物)	瀬口家住宅木小屋	たきぐちけじゅうたくきごや	1棟	庄原市春田町	平30.3.27					大正期
国	登録有形文化財(建造物)	瀬口家住宅客殿及び渡廊下	たきぐちけじゅうたくきやくわんおよひわたりろうか	1棟	庄原市春田町	平30.3.27					大正15年頃
国	登録有形文化財(建造物)	瀬口家住宅主屋	たきぐちけじゅうたくしゅおく	1棟	庄原市春田町	平30.3.27					大正2年
国	登録有形文化財(建造物)	瀬口家住宅中門及び袖塀	たきぐちけじゅうたく	1棟	庄原市春田町	平30.3.27			山陰と山陽を結ぶ交通の要衝に據り、明治35年に診療所を開業した。長屋門は院長の居室や入院施設をもち、併設する診療所と共に明治後期の地方病院の形式をよく伝える。主屋は敷地中央に建ち、接客用の庭敷と私的な居室を前後で区分しており、式台玄関の虹梁や出格子の庇匡をみる。座敷筋など随所に大工の技量が發揮される。主屋の西方に渡り廊下を介して客殿が建つ。客殿は平屋建であるが、柱が高く、入母屋造の屋根(いわら)瓦を載せ重厚な外観をみせる。納戸は主屋南に建ち、喫室がある。家族の建物で、便所や風呂も往時の姿をよく留める。施設、土蔵は敷地東面に建ち、土蔵と一緒に前庭道路からの景観を構成する。納屋は土蔵の南に建ち、往診用馬車の駐(まきや)や養蚕の作業所として使用された。木小屋は納屋に直交して建ち、薪炭置き場や漬物小屋、養蚕室が使用され当時に沿うる生活を支える施設。木小屋は納屋に直交して建ち、薪炭置き場や漬物小屋、養蚕室が使用され当時に沿うる生活を支える施設。中門及び袖塀は主屋の玄関前と座敷や各殿の庭園を囲す。裏門は敷地南面に開き、敷地を囲む土塀等は総延長192メートルにも及び、亀甲積の石垣上に建ち、歴史的な景観を形成している。		大正2年頃
国	登録有形文化財(建造物)	瀬口家住宅土蔵	たきぐちけじゅうたく	1棟	庄原市春田町	平30.3.27					大正期／昭和後期改修
国	登録有形文化財(建造物)	瀬口家住宅長屋門及び診療所	たきぐちけじゅうたく	1棟	庄原市春田町	平30.3.27					明治35年頃
国	登録有形文化財(建造物)	瀬口家住宅納屋	たきぐちけじゅうたく	1棟	庄原市春田町	平30.3.27					大正期

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	瀬口家住宅納戸	たきぐちけいとうたくなんど	1棟	庄原市春田町	平30.3.27					明治後期
国	登録有形文化財(建造物)	旧片野製パン所	きゅうかたのせいぱんしょ	1棟	府中市上下町上下	平30.11.2	木造2階建、瓦葺一部金属板葺	建築面積23m ²	下町本通りの角地に建つ。モルタル大壁の一階にアーチ窓、二階に縦長窓を並べ、隅部の柱形や軒蛇腹、開口部のレリーフなどで豊かに飾る。		昭和9年／平成17年改修
国	登録有形文化財(建造物)	榎野家住宅主屋	えののじゅうたくしゅおく	1棟	東広島市西条土与丸	平30.11.2	木造2階建、瓦葺	建築面積94m ²	旧西国街道に北面して建つ町屋主屋。切妻造りの二階建てで、出格子を備えた表構えが伝統的な街道景観を形成している。		明治2年頃／昭和55年頃改修
国	登録有形文化財(建造物)	伊原家住宅主屋	いはらけじゅうたくしゅおく	1棟	東広島市高屋町白市	平30.11.2	木造2階建、瓦葺	建築面積289m ²			大正5年頃／昭和30年頃改修
国	登録有形文化財(建造物)	伊原家住宅茶室	いはらけじゅうらくぢやしつ	1棟	東広島市高屋町白市	平30.11.2	木造平屋建、銅版葺	建築面積20m ²	白市中心部にある地主の住宅。主屋は街路に北面して建つ母屋造り妻入りの二階建てで、随所に趣向を凝らした造作を施す。入母屋の八椽を重ね、細部な格子が並ぶ表構えが特徴的な大型町屋である。茶室は前方に母屋と並んで軒間に妻入り妻入りの構えで、主屋と正面西側を区切る門及び扉は、放射状の格子欄間や梢円形容に和風意匠の近代的な創意が表されている。		大正前期／昭和50年頃改修
国	登録有形文化財(建造物)	伊原家住宅門及び塀	いはらけじゅうたくもんおよびへい	1棟	東広島市高屋町白市	平30.11.2	門:木造、瓦葺 塀:木造、瓦葺	門:開口1.6m 塀:総延長13m			大正5年頃
国	登録有形文化財(建造物)	多門亭	たもんてい	1棟	尾道市東土堂町	平31.3.29	木造2階建、瓦葺	建築面積125m ²	千光寺山南腹にある旧料亭。切妻造りの純二階建てで上下階に各玄関を設け、一階に中廊下を通して小座敷を並べ、二階に大座敷を配する。山腹に広がる市街地の歴史的景観の構成要素である。		大正9年頃／昭和40年頃改修
国	登録有形文化財(建造物)	専教寺本堂	せんきょうじほんどう	1棟	安芸高田市高宮町船木	令元.12.5	木造平屋建、銅版葺	建築面積408m ²	専教寺は安芸高田市北東部に位置する浄土真宗本願寺派の寺院。寛政6(1794)年建立の本堂は、外陣(げいん)正面柱間7間と大規模で、内部を円柱、側(がわ)廻り(まわり)を角柱とし、広い景敷きの外陣、装飾的な内外陣構造(ないげんこうぞう)、内陣(ないじん)背後の後門(ごくもん)など真宗本堂の典型的な平面で、江戸後期真宗本堂の好例。		寛政6(1794)年／大正2年改修
国	登録有形文化財(建造物)	専教寺納骨堂	せんきょうじのうこつどう	1棟	安芸高田市高宮町船木	令元.12.5	木造平屋建、瓦葺	建築面積21m ²	納骨堂は、境内北端に南面(なんめん)して建つ。正面三間、側面二間、宝(ほう)形造り棟(きょうづくりさん)瓦(かわら)葺き(ふき)て、正面中央に面折(おもおり)棟(さん)唐戸(からど)と両脇に花頭(かとう)窓(まど)を設け、彫刻欄間を嵌(は)める。内部は畳敷きの一室で、奥に仏像を安置し、均整にされた外観である。		昭和中期

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	専教寺山門	せんきょうじさんもん	1棟	安芸高田市高宮町船木	令元.12.5	木造、瓦葺、左右袖廻付	間口3.9m、	大正3年建立の山門(さんもん)は本堂の正面に西面(せいめん)して建つ。切妻造り(きりづまづくり)桟瓦(さわら)葺きの四(し)脚門(きやくもん)で、虹(こう)梁(りょう)、木(き)鼻(はな)、大瓶束(たいへいづか)などを多彩な彫刻で飾るなど、境内の表(おもて)構え(がまえ)を形成。		大正3年
国	登録有形文化財(建造物)	向酒店舗兼主屋	むかいさてんねんぽけんおもや	1棟	尾道市久保一丁目	令2.4.3	木造二階建、瓦葺	建築面積77m ²	向酒店舗兼主屋は尾道市街地に建つ店舗兼用住宅。大屋根は桟瓦葺だが、一階正面の庇(ひさし)を本瓦葺として重厚に見せる。二階の壁ちは高く、近代の町家の特徴を持っている。		大正14年頃
国	登録有形文化財(建造物)	金光酒造離れ	かねみつしゅぞうはなれ	1棟	東広島市黒瀬町乃美尾	令2.4.3	木造平屋建、瓦葺	建築面積75m ²	金光酒造は東広島市の南西部、黒瀬川流域に位置する。離れは主屋(登録範囲外)の南側に渡り廊下を介して建つ、磨き丸太の縁桁(えんかた)など数寄屋意匠を取り入れた造酒家の離れ。瓶詰所は住宅の一部を、包装所は象嵌蔵を、それぞれ転用したもので、醸造施設の一部を構成する建物。仕込蔵は土蔵造り2階建てで、1階で仕込みを行う醸造施設の主要な建物。貯蔵庫は仕込蔵に接して建つ、桁行39mと長大な土蔵。周囲からよく見え、酿造場の景観を形成している。井戸小屋は木造平屋建で、四隅に柱を立て、中央に右造で井桁を組んだ井戸を配す。酒造りに欠かせない水を供給する施設、門及び堀は主屋から東に延びる堀の中央に一箇蓋造門を開く。煙突は高さ12mのイリス積みの煉瓦窓で、地盤のシルト地なら。		大正後期
国	登録有形文化財(建造物)	金光酒造瓶詰所	かねみつしゅぞうびんづめしょ	1棟	東広島市黒瀬町乃美尾	令2.4.3	木造二階建、瓦葺	建築面積50m ²			大正前期
国	登録有形文化財(建造物)	金光酒造包装所	かねみつしゅぞうそううそうじょ	1棟	東広島市黒瀬町乃美尾	令2.4.3	土蔵造二階建、瓦葺	建築面積51m ²			明治前期
国	登録有形文化財(建造物)	金光酒造仕込蔵	かねみつしゅぞうしこみぐら	1棟	東広島市黒瀬町乃美尾	令2.4.3	土蔵造二階建、瓦葺	建築面積409m ²			明治前期／明治後期増築
国	登録有形文化財(建造物)	金光酒造貯蔵	かねみつしゅぞうちょうぞうぐら	1棟	東広島市黒瀬町乃美尾	令2.4.3	土蔵造二階建、瓦葺	建築面積315m ²			明治後期／大正後期増築
国	登録有形文化財(建造物)	金光酒造井戸小屋	かねみつしゅぞういどごや	1棟	東広島市黒瀬町乃美尾	令2.4.3	木造平屋建、瓦葺	建築面積11m ²	門:木造、瓦葺 堀:木造、瓦葺 門:木間口1.9m／堀:総延長5.8m		昭和前期
国	登録有形文化財(建造物)	金光酒造門及び堀	かねみつしゅぞうもんおよひへい	1棟	東広島市黒瀬町乃美尾	令2.4.3	門:木造、瓦葺 堀:木造、瓦葺	門:木間口1.9m／堀:総延長5.8m			昭和前期

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考	
国	登録有形文化財(建造物)	金光酒造煙突	かねみつしゅぞうえんとつ	1基	東広島市黒瀬町乃美尾	令2.4.3	煉瓦造	高さ12m			昭和前期	
国	登録有形文化財(建造物)	神山八幡神社本殿	さかきやまはちまんじんじや ほんでん	1棟	東広島市安芸津町三津	令2.4.3	木造平屋建、銅板葺	建築面積22m ²			明治40年／昭和前期改修	
国	登録有形文化財(建造物)	神山八幡神社 拝殿及び幣殿	さかきやまはちまんじんじや はい でんおよびはらいでん	1棟	東広島市安芸津町三津	令2.4.3	木造平屋建、銅板葺	建築面積149m ²			明治40年／昭和58年改修	
国	登録有形文化財(建造物)	神山八幡神社 神門及び塀	さかきやまはちまんじんじや しん もんおよひへい	1棟	東広島市安芸津町三津	令2.4.3	門:木造、瓦葺、間口1.8m／塀:木造、瓦葺、総延長76m	門:間口1.8m／塀:総延長76m	神山八幡神社は瀬戸内海を臨む丘の上にある神社。本殿は明治40年の建築で、境内の奥に南面して建つ、重厚なつくり。拝殿及び幣殿は本殿正面の石段下に建ち、社頭(しゃとう)景観を重厚に演出している。神門及び塀は本殿の周囲を囲繞(いじょう)する門と塀。神門は一間腕木門で、森嚴(しんげん)な本殿回りの景観を整えている。松尾神社本殿は酒造関係者が松尾大社から勧請(からしう)したもので、地域の酒造業繁栄の歴史を物語る社殿。護国神社本殿は拜殿前方の参道に建つ、村内戦没者を祀る社殿。隨身門は三間一戸八脚門(さんけんいつこはつきやくもん)で、境内で唯一の近代建築。			昭和15年
国	登録有形文化財(建造物)	神山八幡神社 松尾神社本殿	さかきやまはちまんじんじや まつ おじんじやほんでん	1棟	東広島市安芸津町三津	令2.4.3	木造平屋建、銅板葺	建築面積35m ²			昭和4年頃	
国	登録有形文化財(建造物)	神山八幡神社 護国神社本殿	さかきやまはちまんじんじや ごこく じんじやほんでん	1棟	東広島市安芸津町三津	令2.4.3	木造平屋建、銅板葺	建築面積7.3m ²			昭和28年頃	
国	登録有形文化財(建造物)	神山八幡神社 隨身門	さかきやまはちまんじんじや ずい じんもん	1棟	東広島市安芸津町三津	令2.4.3	木造平屋建、銅板葺	建築面積18m ²			天明2年(1782)頃／昭和10年改修	
国	登録有形文化財(建造物)	旧江田島海軍下士卒集会所(海友舎)二階建棟	きゅうえたじまかいくんかしそつしゅうかいしょかいゆうしゃ にかいたてとう	1棟	江田島市江田島町中央二丁目	令2.4.3	木造二階建、瓦葺	建築面積83m ²	旧江田島海軍下士卒集会所は、明治期に海軍が下士官兵の福利厚生施設として各軍港に建設した下士卒集会所のひとつ。二階建棟は明治40年の建築で、木造2階建て、下見板張りの外壁に上げ下げ窓を並べる洋館。平屋建棟は二階建棟の背面に建つ。明治38年に建てた吳海軍下士卒集会所松館を昭和3年に移築したもの。二階建棟とともに木造の旧海軍下士卒集会所として希少な遺構。		明治40年	
国	登録有形文化財(建造物)	旧江田島海軍下士卒集会所(海友舎)平屋建棟	きゅうえたじまかいくんかしそつしゅうかいしょかいゆうしゃ ひらやだてとう	1棟	江田島市江田島町中央二丁目	令2.4.3	木造平屋建、瓦葺	建築面積192m ²			明治38年／昭和3年移築	

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	神森神社本殿	さかきもりじんじや ほんでん	1棟	安芸郡熊野町	令24.3	木造平屋建、銅板葺	建築面積18m ²	神森神社は熊野町北部に位置し、本殿は石段を登った境内地の北西に建つ。三間社流造(さんげんしゃながれづくり)銅板葺き。拝殿は本殿の南に渡殿及び幣殿を介して建つ。入母屋造り妻入りの屋根は境内空間の象徴的存在。		江戸末期／明治16年改修
国	登録有形文化財(建造物)	神森神社拝殿	さかきもりじんじや はいでん	1棟	安芸郡熊野町	令24.3	木造平屋建、瓦葺	建築面積40m ²	同上		明治16年頃
国	登録有形文化財(建造物)	翁座	おきなざ	1棟	府中市上下町上下	令28.17	木造二階建、切妻造棟瓦葺	建築面積418m ²	歴史的な町並みの中核として親しまれる芝居小屋。吹き抜けの客席や回り舞台装置などを備え、二階はコ字形に桟敷席と振宝珠(ぎほし)高欄(こうらん)を廻らす。現在は市が取得し、公開施設として活用。		大正14年、昭和21年増築、平成6年改修
国	登録有形文化財(建造物)	眞田家住宅主屋	さなだけじゅうたくおもや	1棟	三原市東町一丁目	令32.4	木造2階建一部平屋建、瓦葺一部銅板葺	建築面積250m ²	眞田家は代々商家で近代以降は量販販売業や製糖商販売業を営んだ。主屋は二階建て切妻造りで入母屋造り玄関を付す。敷地には、和様折衷の客間や、茶室など上質な接客空間を配し、山陽道に面して土蔵や表門を並べる。		大正前期／昭和38年・平成14年改修
国	登録有形文化財(建造物)	眞田家住宅奥座敷	さなだけじゅうたくおくざしき	1棟	三原市東町一丁目	令32.4	木造平屋建、瓦葺一部銅板葺	建築面積171m ²			昭和3年／昭和38年増築
国	登録有形文化財(建造物)	眞田家住宅客間	さなだけじゅうたきやくま	1棟	三原市東町一丁目	令32.4	木造2階建一部平屋建、瓦葺一部銅板葺	建築面積109m ²			昭和3年
国	登録有形文化財(建造物)	眞田家住宅茶室	さなだけじゅうたくちやしつ	1棟	三原市東町一丁目	令32.4	木造平屋建、瓦葺一部銅板葺	建築面積36m ²			昭和3年
国	登録有形文化財(建造物)	眞田家住宅土蔵	さなだけじゅうたくどぞう	1棟	三原市東町一丁目	令32.4	土蔵造2階建及び煉瓦造3階建、瓦葺、建築面積36m ²	建築面積36m ²	眞田家は代々商家で近代以降は量販販売業や製糖商販売業を営んだ。主屋は二階建て切妻造りで入母屋造り玄関を付す。敷地には、和様折衷の客間や、茶室など上質な接客空間を配し、山陽道に面して土蔵や表門を並べる。		大正前期／昭和3年増築
国	登録有形文化財(建造物)	眞田家住宅表門	さなだけじゅうたくおもてもん	1棟	三原市東町一丁目	令32.4	木造、銅板葺	間口2.4m			昭和3年／平成14年移築

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	酔心山根本店事務所	すいしんやまねほんてんじむしょ	1棟	三原市東町一丁目	令3.2.4	木造2階建、瓦葺	建築面積266m ²	事務所は酒造業を営む長大な間口を持つ町家で二階建て切妻造り本瓦葺き。一階に格子を建て二階に虫籠窓を開け、黒漆喰塗りで重厚に仕上げる。西脇に建つ土蔵とともに旧山陽道沿いの景観を形成する。		明治35年／昭和5年増築・平成18年移築
国	登録有形文化財(建造物)	酔心山根本店土蔵	すいしんやまねほんてんどぞう	1棟	三原市東町一丁目	令3.2.4	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積53m ²			昭和5年／平成18年移築
国	登録有形文化財(建造物)	太田家住宅主屋	おおたけじゅうたくおもや	1棟	東広島市西条岡町	令3.2.4	木造2階建、瓦葺	建築面積201m ²			明治38年頃／昭和4年改修
国	登録有形文化財(建造物)	太田家住宅茶室棟	おおたけじゅうたくちやしちう	1棟	東広島市西条岡町	令3.2.4	木造平屋建、瓦葺	建築面積71m ²			昭和前期
国	登録有形文化財(建造物)	太田家住宅離れ	おおたけじゅうたくはなれ	1棟	東広島市西条岡町	令3.2.4	木造平屋建、瓦葺	建築面積95m ²			昭和前期
国	登録有形文化財(建造物)	太田家住宅南土蔵	おおたけじゅうたくみなんどぞう	1棟	東広島市西条岡町	令3.2.4	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積26m ²	旧西国街道に面する大規模町家。主屋は二階建で入母屋造り赤色桟瓦葺きで正面に下屋を通り、中央を平格子、西を出格子とし、二階は黒タイル貼りの重厚な外観とする。敷地北端の離れの座敷は床の左右に床頭と書院を		昭和前期
国	登録有形文化財(建造物)	太田家住宅北土蔵	おおたけじゅうたくきたどぞう	1棟	東広島市西条岡町	令3.2.4	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積24m ²	造り、良材を用いて端正な意匠でまとめる。主屋と離れの間に建つ茶室は六畳と四畳半茶室からなり、数寄屋意匠をとる。敷地東に建つ南土蔵、北土蔵はいずれも二階建て切妻造り桟瓦葺き。梁門形式の門及び左右扉は、主屋とともに町並みに良好な景観を形成する。		昭和後期／昭和前期移築
国	登録有形文化財(建造物)	太田家住宅門及び堀	おおたけじゅうたくもんおよびへい	1棟	東広島市西条岡町	令3.2.4	門:木造瓦葺、間口1.8m 堀:木造瓦葺、延長33m	門:間口1.8m 堀:延長33m			昭和前期
国	登録有形文化財(建造物)	岡田家住宅主屋	おかだけじゅうたくおもや	1棟	東広島市西条本町	令3.2.4	木造2階建、瓦葺	建築面積212m ²	市中心部にある酒問屋を営む商家。主屋は入母屋造り妻入りで黒タイル貼りの二階は両端に袖卯建(そ		昭和前期

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	岡田家住宅土蔵	おかだけじゅうたくどぞう	1棟	東広島市西条本町	令32.4	土蔵造2階建、瓦葺	建築面積37m ²	でうたつ)を掲げる。南蔵に建つ漆喰塗りの土蔵とともに旧西国街道の歴史的景観を形成する。		昭和前期
国	登録有形文化財(建造物)	大藤家住宅主屋	おおとうけじゅうたくおもや	1棟	東広島市高屋町白市	令4.2.17			白市中心部に建つ旧酒造業の店舗兼住宅。二階建入母屋造棟瓦葺(いりもやづくりまいりさんがわらぶき)で、東正面を出(だ)し桁造(けつぞう)。北側面軒廻(のきまわり)を漆喰(しっくい)塗込とする。正面にガラス引き戸と格子を構え、内部は南にガラス窓を多用した開放的な通り土間、北にミセ等四室並べる。昭和初期の白市の繁栄を示す。		昭和4年頃／昭和50年頃改修
国	登録有形文化財(建造物)	保手濱家住宅主屋	ほてはまけじゅうたくおもや	1棟	東広島市高屋町白市	令4.2.17			白市中心部に西面して建つ町家。つしニ階建、切妻造(きりづまづくり)平入棟瓦葺(ひらいりさんがわらぶき)。正面に一間半の下屋(げや)を設け下す。二階つし部分は奥行二間。中央に玄関を構えて廊下を造る。南北各三室を並べるが廊下、正面側の部屋はもと土間と伝わる。西条盆地の町家の変遷を伝える重要な遺構。		明治17年／昭和50年頃改修
国	登録有形文化財(建造物)	旧尾道市役所百島支所庁舎	きゅうおのみちしやくしょもしまじょちょうしゃ	1棟	尾道市百島町	令4.10.31	木造2階建、鉄板葺	建築面積251m ²	百島北東部にある役場庁舎。木造二階建、半切妻造で、縦長窓を基調に洋風とし、正面頂部ガラリに二階の四連窓が特徴的。二階はキングポストトラスで大広間とし、一階カウンター付事務室が住用を兼ねる。現在、ゲストハウスとイベントスペースとして活用。		昭和29年／令和元年改修
国	登録有形文化財(建造物)	旧村井医院診療棟	きゅうむらいいいんしんじょうとう	1棟	尾道市御調町市	令5.8.7	木造平屋建、棟瓦葺	建築面積89m ²	山陽道と出雲街道が交わる御調(みつき)の町にある洋風の医院建築。診療棟は、客棧造り棟瓦葺きで、外壁は下見板張と定規柱風にモルタル塗り仕上げとする。ベティメント付きの上げ下げ窓と石柱の門が街道沿いの歴史的景観を形成する。		大正7年／昭和中期・平成24年改修
国	登録有形文化財(建造物)	旧村井医院門柱	きゅうむらいいいんもんちゅう	1基	尾道市御調町市	令5.8.7	石造、石構付	間口1.9m			大正7年頃／昭和中期改修
国	登録有形文化財(建造物)	旧宮地醤油店離れ(林美美子旧居)	きゅうみやちしょうゆてんはなれ(はやしみこきゅうよ)	1棟	尾道市土堂一丁目	令5.8.7	木造二階建、鉄板葺	建築面積12m ²	尾道駅に程近い商店街にある醤油店の付属建物。短冊形敷地背面側に建ち、離れや醤油蔵、一時貸家とした。当地では東風を避けて二階東面は壁として妻側に窓を設けるが、その特徴を持つ。大正6年頃には小説家林美美子が入居しており、現在、資料館として活用。		明治中期／昭和51年頃改修
国	登録有形文化財(建造物)	林家住宅主屋	はやしけじゅうたくおもや	1棟	福山市鞆町鞆	令6.3.6	木造二階建、瓦葺	建築面積215m ²	鞆城跡北東の角地に位置し、かつて醤油業や船渠業で栄えた商家の町家。二階壁面は広い縁取りの木瓜形(もっこがた)虫籠窓を並べて腰を海鼠壁とするなど豪壮な意匠の町家。		明治中期
国	登録有形文化財(建造物)	明覚寺本堂	みょうかくじほんどう	1棟	三次市吉舎町吉舎	令6.3.6	木造平屋建、瓦葺	建築面積284m ²			昭和3年／令和2年移築

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	明覚寺鍾堂	みょうかくじょうどう	1棟	三次市吉舎町吉舎	令6.3.6	木造、瓦葺	建築面積6.8m ²	石見銀山街道の吉舎(きさ)宿にある真宗寺院。東面して建つ本堂の東南に鐘楼、山門を配する。本堂は東京の両国にあつた松井角平事務所設計の慈光院本堂を移築したもの。七間堂で外陣は土間をコの字に組んだ斬新な平面とする良質な近代和風の本堂。鐘堂は基壇上に建つ一間四方入母屋造り。三斗を組み、中備は幕股、軒は一軒繁垂木。山門は四脚門、冠木の上方に前後の控柱を繁く頭貫を通した特異な形式。通りに面して建ち、地域の歴史的景観をつくる。		明治25年／昭和中期改修
国	登録有形文化財(建造物)	明覚寺山門	みょうかくじさんもん	1棟	三次市吉舎町吉舎	令6.3.6	木造、瓦葺	間口2.8m			明治2年
国	登録有形文化財(建造物)	ヤマモトロックマン(旧山本鉄工所)旧本社事務所兼主屋	やまもとろくましん(きゅうやまもとてうこうしょ)しあこうじょう	1棟	庄原市東城町東城	令6.12.3	木造二階建、瓦葺	建築面積258.678m ²	東城の新町筋に西面して建つ削岩機製造会社の旧本社事務所兼主屋。和前期装、昭和中期改修と伝わる。二階達片寄棟造瓦葺で外壁モルタル接着仕上、腰を石貼。二階に突出窓を設出し、丸窓など幾何学的意匠で飾る。正面側は事務所に改修し、背面側に和室の居住部を残す。独特な外観が通りの景観を形成している。		
国	登録有形文化財(建造物)	ヤマモトロックマン(旧山本鉄工所)旧研究室棟	やまもとろくましん(きゅうやまもとてうこうしょ)しあこうじょう	1棟	庄原市東城町東城	令6.12.3	木造平屋、瓦葺	建築面積130.680m ²	事務所兼主屋の東に位置する削岩機製造会社の旧研究開発棟。昭和前期装と伝わる。切妻造平入格戸真東西様で、創始より上部半円アーチの腰長窓を有し、外壁モルタル接着仕上。内部中央は複数の研究室で、北と南の土間道路沿いにそれぞれ戸口と窓を開ける。削岩機製造の起點となった洋風の研究室棟である。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧小野産婦人科医院	きゅうおのさんふじんかいいん	1棟	尾道市十四日元町	令7.3.13	木造三階建、鉄板葺	建築面積100m ²	尾道の中心部に位置する旧産婦人科医院。隅切りの角地に建つ木造三階建てで、庇や付柱など直線的構成で角地を強調した外観が印象的な医院建築。現在は店舗等として活用。		
国	登録有形文化財(建造物)	旧小林家住宅主屋	きゅうこばやしけじゅうたくおもや	1棟	尾道市長江	令7.3.13	木造二階建、瓦葺	建築面積172m ²	長江通り東側の石垣上に建ち、洋画家小林和作(わさく)が晩年まで居住した主屋。二階はアトリエとして用い、西面に掲出窓を開けた眺望優れた主屋。現在は小林和作の遺品展示や交流施設として活用。		
国	登録有形文化財(建造物)	伊原惣十郎家住宅主屋	いはらそうじゅうろうけじゅうたくおもや	1棟	東広島市高屋町白市	令7.3.13	木造二階建、瓦葺	建築面積319m ²			
国	登録有形文化財(建造物)	伊原惣十郎家住宅離れ及び茶室	いはらそうじゅうろうけじゅうたくはなれよひぢやしつ	1棟	東広島市高屋町白市	令7.3.13	木造平屋建、瓦葺	建築面積74m ²	白市の本町通りに南面する錦物商の屋敷で、主屋、離れ及び茶室、三階建、門及び塀からなる。通りに面する主屋は2階建てで入母屋造りで、一階出格子に大振りの鋲(くぎ)金具を付す錦物商らしい町家。主屋の北東に位置する離れ		
国	登録有形文化財(建造物)	伊原惣十郎家住宅三階蔵	いはらそうじゅうろうけじゅうたくさんかいくら	1棟	東広島市高屋町白市	令7.3.13	土蔵造三階建、瓦葺	建築面積23m ²	は南を式台とした三室の続き間座敷で、西に縁を付す。四畳半の茶室とともに上質なつくり。主屋の北東に位置する三階建の家財蔵で錦物商の繁栄を伝える。門は正面に石段を設けた、一間梁廻門で、門口の板扉に八双金具を付す。主屋に連なり歴史的な景観をつくる。主屋は現在、飲食店として活用。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	伊原忠一郎家住宅門及び塀	いはらそうじゅうろうけじゅうたくもん およびへい	1棟	東広島市高屋町白市	令7.3.13	木造、瓦葺	門:間口2.4m 塀:総延長13m			
国	登録有形文化財(建造物)	大藤家住宅離座敷	おおとうけじゅうたくはなれざしき	1棟	東広島市高屋町白市	令7.3.13	木造二階建、瓦葺	建築面積76m ²			
国	登録有形文化財(建造物)	大藤家住宅塀場	おおとうけじゅうたくかまば	1棟	東広島市高屋町白市	令7.3.13	木造平屋建、瓦葺	建築面積93m ²	白市中心部に位置する旧酒造業の屋敷。既登録の主屋の西に建つ離れ座敷、塀場、土蔵からなる。離れ座敷は二階建で主屋と二階建ての渡廊下で接続。二階は東西の続き間座敷を配し、堵正かづ。主屋の北西に位置する金場は、平屋建で南面裏帯を開放らしする。醸造用の半地下の金場などを残し、酒造業の様相を伝える。土蔵は家財蔵で窓少なく重厚な外観で敷地西方の歴史的な景観を形成。		
国	登録有形文化財(建造物)	大藤家住宅土蔵	おおとうけじゅうたくビぞう	1棟	東広島市高屋町白市	令7.3.13	土蔵造二階建、瓦葺	建築面積20m ²			
国	登録有形文化財(建造物)	山中家住宅土蔵	やまなかけじゅうたくビぞう	1棟	廿日市市宮島町	令7.3.13	土蔵造二階建、瓦葺	建築面積61m ²	宮島の東町にある旧呉服商の家財蔵。一階は土間、二階は板敷で中央に独立柱を立て、小屋組は登り梁形式。正面に家紋を付し、呉服商の繁栄を伝える重厚な土蔵。		
国	登録有形文化財(建造物)	イシネ事務機社屋(旧尾道警察署庁舎)	いしねじむきしゃおく(きゅうおのみ ちかいさつしょちょうしゃ)	1棟	尾道市古浜町	令7.8.6	木造二階建、瓦葺	建築面積 248 m ²	かつて、市街地中央部に位置した、尾道警察署庁舎を移築し、事務所として転用した建物。木造2階建で寄棟造り桟瓦葺きで外壁は縦長の上げ下げ窓を配す。洋風の外観が警察署庁舎の面影を留め、地域の歴史を伝える貴重な遺構。		
国	登録有形文化財(建造物)	後藤鉱泉所店舗兼工場	ごとうこうせんしょんほんこう じょ	1棟	尾道市向島町	令7.8.6	木造二階一部平屋建、瓦葺一部鉄板葺	建築面積321 m ²	向島にあるラムネなどの飲料製造販売所。敷地西側は工場及び倉庫を配し、東側は通りに面して店舗を増築し、全体に複雑な屋根構成とする。工場に製造機器を残すなど、町の脈を伝える店舗兼工場。		
国	登録有形文化財(建造物)	呉YWCA会館	くれわいだぶりゅーしーかいかん	1棟	呉市幸町	令7.11.17	木造二階建、鉄板葺	建築面積294m ²	呉港東の高台に建つYWCAの会館。呉海軍工廠の被服倉庫を転用したと伝わる。敷地に合わせたV字平面で二階建・切妻造鉄板葺、外壁は下見板張。階段部に段落感を削除して吹抜ホールとし、踏場付階段で二階へ上る。二階床の合板床など特徴的な構法を用い、角地に建つ洋風の外観が地域のランドマーク的存在。地域の交流拠点として、教育・サークル活動の他、障害者のための音楽や地域・子どもとの地域貢献活動に使用されている。		
国	登録有形文化財(建造物)	奥田家住宅主屋	おくだけじゅうたくおもや	1棟	安芸高田市向原町坂	令7.11.17	木造二階建、瓦葺	建築面積299m ²			

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(建造物)	奥田家住宅土蔵	おくだけじゅうたくどう	1棟	安芸高田市向原町坂	令7.11.17	土蔵造二階建、瓦葺	建築面積74m ²			
国	登録有形文化財(建造物)	奥田家住宅牛小屋	おくだけじゅうたくしごや	1棟	安芸高田市向原町坂	令7.11.17	木造平屋建、瓦葺	建築面積161m ²	市域南東端の山間に位置する旧家の屋敷。敷地中央の主屋の東側に、土蔵、牛小屋、木小屋が配され、南側に門を構える。主屋は二階建・片入母屋造で、南西の主屋敷は床蔵に五段の達窓を飾り、部屋境の欄間影羽など凝ったつくり。地域で豪農らしい大規模で良質な主屋。土蔵は玄関前で、外壁は漆喰仕上げで三段の水切りを施し、腰壁もモルタル洗出仕上。牛小屋は平屋建で切妻造り平入りで、南側が作業場、北側が倉庫や牛小屋で上部に物置を設ける。木小屋は平屋建で切妻造り平入りで、外壁中塗仕上げとし、牛小屋と連なり豪農の豪華な景観を有する。門は一間一戸の梁門で東脇に潜戸を設ける。乳金物など打た板戸を開き、風格ある表構えをつくる。		
国	登録有形文化財(建造物)	奥田家住宅木小屋	おくだけじゅうたくしごや	1棟	安芸高田市向原町坂	令7.11.17	木造平屋建、瓦葺	建築面積66m ²			
国	登録有形文化財(建造物)	奥田家住宅門	おくだけじゅうたくもん	1棟	安芸高田市向原町坂	令7.11.17	木造、瓦葺	間口2.7m			
国	登録有形文化財(建造物)	村井家住宅主屋(旧市村郵便局)	むらいけじゅうたくおもや(きゅういちむらゆうびんきょく)	1棟	尾道市御調町市	※未告示(R7.11.21答申)	木造二階建、セメント瓦葺	建築面積213m ²	旧出雲往来に面して建つ旧郵便局を併設する主屋と土蔵。当該地域は市村といわれた旧村で、戦後まで家畜の立つ宿場町があり、跡地はそのまま市村並みの一角を位置している。江戸時代には、家主が大庄屋、御山奉行の役を務め、その役割にふさわしい建物の規模、造形などになっている。主屋は2階建切妻造瓦葺の町家の南側にアーチやメリオンで飾った石造風外觀の郵便局を付加する。全体の平面は奥行きが深く、面敷は良材を用いた端正なづくり。尾道の郵便局を備えた外觀が街道の脇を走る。		(令和7年11月21日登録答申)
国	登録有形文化財(建造物)	村井家住宅土蔵	むらいけじゅうたくどう	1棟	尾道市御調町市	※未告示(R7.11.21答申)	土蔵造二階建、瓦葺	建築面積64m ²	土蔵は主屋の土間北側に接続して建つ、2階建切妻造で置屋根形式の株瓦葺で正面に下屋を付す。小屋組は曲がり梁を用いた小屋。主屋と一体となって街道沿いの景観を形成する。		(令和7年11月21日登録答申)
国	登録有形文化財(記念物)	船木氏庭園	ふなきしていえん		三原市西町	平23.2.7	庭園	1,902.45m ²	江戸時代末期から近代に酒造業などの商業により財を成した川口氏の別邸で、茶室・数寄屋(すきや)建築の増改築に伴って順次作成が進んだ住宅の庭園。 建築群の北と東に広い平場(ひらば)、その背景として敷地北辺から東半部にかけて複数の築山(つきやま)、両者を結んで経縄に打たれた石舟(いそいし)、延段(のべだい)、石段、要所に配置された躰路(づばい)、手水鉢(ちょうすばち)、井戸、燈籠など、面積に比して景観構成・景物(けいぶつ)は多彩で変化に富む。 特に、築山は背面を2段の石垣で積み上げた高さ3mの大きさなもので、石段付近の築山裾部には大きな景石(けいせき)を多用して見所のある景をつくり、頂部からの展望も意図された。 建築群の北端の五重茶室は19世紀半ばの茶人であった不庵(ふあん)の造作とされるほか、敷地北西隅部に建つ物見櫓の初層床面には花文(はなもん)の敷瓦による装飾が見られるなど、庭園とともに建築の随所にも特質が見られる。 この時期における三原地方の庭園文化の一端を示す事例として意義深い。		
国	登録有形文化財(記念物)	瓢箪島	ひょうたんじま		尾道市瀬戸田町 愛媛県今治市上浦町	平25.3.27		8,958平方メートル(全島17,576平方メートル)	瓢箪島は瀬戸内海に浮かぶ瓢箪形の形をした無人島で、広島県尾道市の生口島(いのくじま)と愛媛県今治市の大三島(おおみしま)の中間に位置する。島の周囲は約700メートルあり、県境が横切る瓢箪形のくびれ部を挟んで、広島県側の最高所は標高23.4メートル、愛媛県側の最高所は標高35.2メートルである。 昔、江戸時代の大三島の神が島取りを目的の船で島を開いたため、くびれしまった島の形を双方の島民が心から嫌うて和解の意を込めて名づけられた。この名前は島の形がくびれの瓢箪(ひょうたん)によるとされる。その島を守る争いを繰り返して生まれた諂ひ言葉であるが、その諂ひ言葉は島の名前を冠して「ひょうたん島」と呼ばれる。島内には明治時代の境界石も残されている。また、瓢箪島の小川の水を歌い歌い合った舟歌も伝えられており、島の風致と親親は漁師たちの間でもはさかれていたことが知られる。 瓢箪島は、昭和39年に放映が開始されたNHKのテレビ人形劇『ひょうこり、ひょうたん島』のモデルとなったとされる島の一つとしても著名である。再現するが容易でない名勝地として意義深い。		

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	登録有形文化財(記念物)	前垣氏庭園(寿延庭)	まえがきしていえん(じゅえんてい)		東広島市西条上市町	平28.3.1	本庭、前庭、中庭		前垣氏庭園は、東広島市で酒造業を営む前垣氏の邸宅に造られた枯山水庭園であり、庭園研究者で作庭家であった重森三玲が設計を行った。作庭に当たって重森は昭和30年12月に前垣宅に滞在し、自ら指示をした。 庭園は本庭、前庭、中庭の3つの部分から成る。奥の座敷面に面する本庭は、白砂敷(しらすなじき)で水面が表現され、左右からの細長い出島を主とする陸地部分には苔が貼られている。水面と陸地部分が接する右側は入り組み、砂の白と苔の深い緑色が対照を成す。また、建物の縁には波浜にならえた敷石が並べられ、その水際はねうらるる曲線を描き、正面中央の大ぶりな景石を捉え、随所に立て伏石を配置する。前庭は表門と玄関の間に造られ、三つの苔の築山、直打の飛石を設し、その他の部分は白砂敷にしている。中庭は周囲を囲まれた坪庭で、三つの景石と飛石、苔敷石を設し、それ以外の部分に白砂を敷。三つの庭園は位置的に独立し、それぞれの意匠も異なるが、立石を中心面白砂、苔等の材料を用いて作られた空間は、多くの枯山水庭園を残した重森の作風がよく表されている。遺産当初の姿を今までよく伝えしており、造園文化の発展に寄与した意義深い事例である。		
国	登録有形文化財(民俗文化財)	鞆の鍛冶用具及び製品	とものかじょうくおよびせいひん	567点	福山市鞆町・福山市鞆の浦歴史民俗資料館	令33.3.11			鞆の鍛冶用具及び製品は、古来より漸待ちの港で知られた広島県福山市鞆町において、船具などの鍛造に使われた用具とその製品である。鞆の鍛冶職人の間では、近世以来の家業や労働的な制度が昭和初期まで続けれ、鞆と弟子子孫に継承された。本件はその当時の手作業による用具を数多く収集している。鍛冶用具は、鞆の主要製品であった船や船釘などを製作するために、昭和の中頃まで使われていた用具が一式揃っている。鉄を熱處理する火床や鍛打する鍛、作業台の金床、鉄を挟んで打つ轡や鉗、仕上げ道具の鍛やサガなど、用具ごとに大小各種が揃っている。ほかにも網の鍛や廣中釘の爪なども収集されており、船具類の鍛造などにまつわる製作活動の幅広さが窺える。代表的な製品は、錨や船釘である。錨は四爪錨や二爪の唐人錨などで、船釘は鍛縫、通釘、包釘、鉄釘などの木造船の建造用途によって異なる大小各種が揃っている。昭和の中頃までに製作された各種の製品が網羅的に収集されている。		